

DCS-7010L

Cloud HD Mini Bullet Outdoor Network Camera

ユーザマニュアル



目次

1. お使いになるまえに	4
本製品について	5
機能概要	5
本製品の特長	5
本製品の接続例	5
商品名と品番	5
本マニュアルについて	6
マニュアルの構成	6
マニュアルの対象者	6
表記規則	6
安全にお使いいただくために	7
ご使用上の注意	8
静電気障害を防止するために	9
バッテリーの取り扱いについて	9
電源の異常	9
2. 設置のしかた	10
パッケージの内容	11
動作環境	11
設置についてのご注意	11
本体各部名称	12
前面	12
ケーブルコネクタ	12
内部	13
LED表示	13
製品の接続	14
microSDカードの挿入	14
製品の設置	15
マウントプレートを使用して設置する	15
角度の調整	16
インストールウィザード	17
mydlink	18
3. WEB GUI 画面について	19
WEB GUI画面へのログイン	20
WEB GUI画面からのログアウト	20
Web GUI画面の構成	21
LIVE VIDEO	21
SETUP	22
ADVANCED	22
MAINTENANCE	23
STATUS	23
HELP	24

4. Set Up (基本設定)	25
Setup Wizard	26
インターネット接続設定	26
IPカメラ動体検知設定	28
Network Setup	30
Dynamic DNS	34
Image Setup	35
Audio and Video	36
Preset	38
Motion Detection	40
Time and Date	41
Event Setup	42
SERVER	43
MEDIA	44
EVENT	45
RECORDING	47
SD Card	48
5. Advanced (詳細設定)	49
DI and DO	50
ICR and IR	51
HTTPS	52
Access List	53
SNMP	54
6. Maintenance(メンテナンス)	55
Admin	56
System	58
Firmware Upgrade	59
7. Status(ステータス)	60
Device Info	61
Log	62
8. 付録	63
工場出荷時設定に戻す	64
リセットボタンを使用する場合	64
Web GUIからリセットする場合	64
DI/DO コネクタについて	65
各ピンの機能	65
配線図	65
FAQ	66
機能設定例	67
対象機器について	67
SDカードへの動体検知録画設定	67

お使いになるまえに

1

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。

また、必ず本書および設置マニュアルをよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で記載事項に従ってご使用ください。

■ 本製品について.....	5
機能概要.....	5
本製品の特長.....	5
本製品の接続例.....	5
商品名と品番.....	5
■ 本マニュアルについて.....	6
マニュアルの構成.....	6
マニュアルの対象者.....	6
表記規則.....	6
■ 安全にお使いいただくために.....	7
■ ご使用上の注意.....	8
■ 静電気障害を防止するために.....	9
■ バッテリーの取り扱いについて.....	9
■ 電源の異常.....	9

本製品について

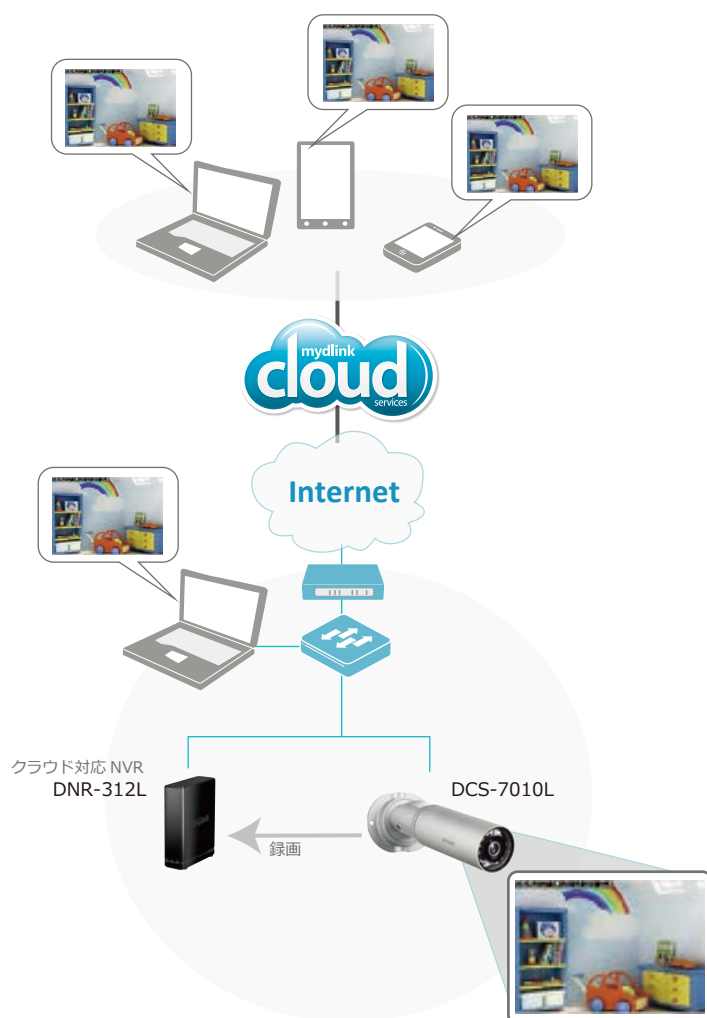
■機能概要

DCS-7010L は、動体検知機能、デュアルストリーム機能など多機能で優れたコストパフォーマンスを提供する小規模オフィス向けのクラウド対応ネットワークカメラです。mydlink クラウドに接続すると、Web ブラウザを使用して簡単にインターネット経由でどこからでもライブ映像の視聴やカメラの管理を行うことが可能です。また、クラウド対応のネットワークビデオレコーダー、DNR-312L に接続することで、大容量の録画を快適に管理・閲覧することができます。

■本製品の特長

- my dlink クラウド対応
- NVR (DNR-312L) 対応
- P67 屋外対応
- PoE (IEEE802.3af)
- HD
- メガピクセル
- 夜間モード
- プライバシーマスク機能
- 動体検知
- マイクロSD
- ONVIF
- ePTZ
- H.264

■本製品の接続例



■商品名と品番

商品名	品番
DCS-7010L	DCS-7010L

本マニュアルについて

■マニュアルの構成

- 1章: お使いになるまえに**
本マニュアルの紹介と、本製品をお使いになる前の注意事項を記載しています。
→『[お使いになるまえに](#):p.4』
- 2章: 設置のしかた**
本製品の各部名称と設置方法について説明します。
→『[設置のしかた](#):p.10』
- 3章: WEB GUI画面について**
本製品の設定・管理を行うWEB GUIへのログイン方法および画面構成について説明します。
→『[WEB GUI画面について](#):p.19』
- 4章: Setup(基本設定)**
ネットワーク設定やプロフィールの設定、動体検知設定など、カメラの機能設定を行います。
→『[Set Up \(基本設定\)](#):p.25』
- 5章: Advanced(詳細設定)**
ICR、アクセスリストなど、カメラの詳細設定を行います。
→『[Advanced \(詳細設定\)](#):p.49』
- 6章: Maintenance(メンテナンス)**
管理者情報の設定やファームウェアアップグレード、工場出荷時設定へのリセットなど、本製品のメンテナンスを行います。
→『[Maintenance\(メンテナンス\)](#):p.55』
- 7章: Status(ステータス)**
カメラのデバイス情報とログを表示します。
→『[Status\(ステータス\)](#):p.60』
- 8章: 付録**
製品を工場出荷時の設定に戻す方法や、FAQ(よくご質問いただく内容)などについて記載しています。
→『[付録](#):p.63』

■マニュアルの対象者

本マニュアルは、本製品の設置および管理についての情報を記載しています。また、ネットワーク管理の概念や用語に十分な知識を持っているネットワーク管理者を対象としています。

■表記規則

本マニュアルでは以下の記号を使用します。

- ⚠警告** この表示を無視し、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。
- ⚠注意** この表示を無視し、間違った使い方をすると、傷害または物損損害が発生するおそれがあります。
- 重要** 設定の組み合わせ、イベントや手順によりネットワークの接続状態やセキュリティなどに悪影響を及ぼす恐れのある事項について説明します。
- メモ** 特長や技術についての詳細情報を記述します。

本マニュアル中での字体、・記号についての表記規則は以下のとおりです。

字体	解説	例
『水色』	マニュアル内の参照先	『 Set Up (基本設定) :p.25』
[青色]	画面遷移	[SETUP] > [Setup Wizard]

安全にお使いいただくために

ご自身の安全を確保し、システムを破損から守るために、以下に記述する安全のための指針をよくお読みください。

安全上のご注意

必ずお守りください

本製品を安全にお使いいただくために、以下の項目をよくお読みになり必ずお守りください。

警告	この表示を無視し、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。
注意	この表示を無視し、間違った使い方をすると、傷害または物損損害が発生するおそれがあります。

記号の意味 してはいけない「禁止」内容です。 必ず実行していただく「指示」の内容です。

警告

- 分解・改造をしない**
機器が故障したり、異物が混入すると、やけどや火災の原因となります。
- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない**
故障の原因につながります。
- 発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用しない**
感電、火災の原因になります。
使用を止めて、ケーブル/コード類を抜いて、煙が出なくなつてから販売店に修理をご依頼してください。
- ぬれた手でさわらない**
感電のおそれがあります。
- 水をかけたり、ぬらしたりしない**
内部に水が入ると、火災、感電、または故障のおそれがあります。
- 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所、振動の激しいところでは使わない**
火災、感電、または故障のおそれがあります。
- 内部に金属物や燃えやすいものを入れない**
火災、感電、または故障のおそれがあります。
- 表示以外の電圧で使用しない**
火災、感電、または故障のおそれがあります。
- たこ足配線禁止**
たこ足配線などで定格を超えると火災、感電、または故障の原因となります。
- 設置、移動のときは電源プラグを抜く**
火災、感電、または故障のおそれがあります。
- 雷鳴が聞こえたら、ケーブル/コード類にはさわらない**
感電のおそれがあります。

- ケーブル/コード類や端子を破損させない**
無理なねじり、引っ張り、加工、重いもの下敷きなどは、ケーブル/コードや端子の破損の原因となり、火災、感電、または故障につながります。
- 正しい電源ケーブル、コンセントを使用する**
火災、感電、または故障の原因となります。
- 乳幼児の手の届く場所では使わない**
やけど、ケガ、または感電の原因になります。
- 次のような場所では保管、使用をしない**
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・高温になる場所
 - ・動作環境範囲外
- 光源をのぞかない**
光ファイバケーブルの断面、コネクタ、および製品のコネクタをのぞきますと強力な光源により目を損傷するおそれがあります。

注意

- 静電気注意**
コネクタやプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけますと故障の原因となります。
- コードを持って抜かない**
コードを無理に曲げたり、引っ張りますと、コードや機器の破損の原因となります。
- 振動が発生する場所では使用しない**
接触不良や動作不良の原因となります。
- 付属品の使用は取扱説明書にしたがう**
付属品は取扱説明書にしたがい、他の製品には使用しないでください。機器の破損の原因になります。

ご使用上の注意

けがや感電、火災および装置の破損のリスクを減らすために、以下の注意事項を遵守してください。

- ◎ 保守マーク表示を守ってください。また、ドキュメント類に説明されている以外の方でのご使用はやめてください。三角形の中に稲妻マークがついたカバー類をあけたり外したりすると、感電の危険性を招きます。筐体の内部は、訓練を受けた保守技術員が取り扱うようにしてください。
- ◎ 以下のような状況に陥った場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いて、部品の交換をするかサービス会社に連絡してください。
 - 電源ケーブル、延長ケーブル、またはプラグが破損した。
 - 製品の中に異物が入った。
 - 製品に水がかかった。
 - 製品が落下した、または損傷を受けた。
 - 操作方法に従って運用しているのに正しく動作しない。
- ◎ 本製品をラジエータや熱源の近くに置かないでください。また冷却用通気孔を塞がないようにしてください。
- ◎ 食べ物や飲み物が本製品にかからないようにしてください。また、水気のある場所での運用は避けてください。万一製品が濡れてしまった場合は、トラブルシューティングガイドの該当する文をお読みになるか、サービス会社に連絡してください。
- ◎ 本システムの開口部に物を差し込まないでください。内部コンポーネントのショートによる火事や感電を引き起こすことがあります。
- ◎ 本製品と一緒にその他のデバイスを使用する場合は、弊社の認定を受けたデバイスを使用してください。
- ◎ カバーを外す際、あるいは内部コンポーネントに触れる際は、製品の温度が十分に下がってから行ってください。
- ◎ 電気定格ラベル標記と合致したタイプの外部電源を使用してください。正しい外部電源タイプがわからない場合は、サービス会社、あるいはお近くの電力会社にお問い合わせください。
- ◎ システムの損傷を防ぐために、電源装置の電圧選択スイッチ（装備されている場合のみ）がご利用の地域の設定と合致しているか確認してください。
 - 東日本では100V/50Hz、西日本では100V/60Hz
- ◎ また、付属するデバイスが、ご使用になる地域の電気定格に合致しているか確認してください。
- ◎ 付属の電源ケーブルのみを使用してください。
- ◎ 感電を防止するために、本システムと周辺装置の電源ケーブルは、正しく接地された電気コンセントに接続してください。
- ◎ 延長コードと電源分岐回路の定格を守ってください。延長コードまたは電源分岐回路に差し込まれているすべての製品の合計定格アンペア数が、その延長コードまたは電源分岐回路の定格アンペア限界の8割を超えないことを確認してください。
- ◎ 一時的に急激に起こる電力の変動からシステムコンポーネントを保護するには、サージサプレッサ、回線調整装置、または無停電電源装置 (UPS) を使用してください。
- ◎ ケーブルと電源コードは慎重に取り付けてください。踏みつけられたりつまずいたりしない位置に、ケーブルと電源コードを配線し、コンセントに差し込んでください。また、ケーブル上に物を置いたりしないようにしてください。
- ◎ 電源ケーブルやプラグを改造しないでください。設置場所の変更をする場合は、資格を持った電気技術者または電力会社にお問い合わせください。国または地方自治体の配線規則に必ず従ってください。
- ◎ システムに対応しているホットプラグ可能な電源装置に電源を接続したり、切り離したりする際には、以下の注意を守ってください。
 - 電源装置を取り付ける場合は、電源装置を取り付けてから、電源ケーブルを電源装置に接続してください。
 - 電源装置を取り外す場合は、事前に電源ケーブルを抜いておいてください。
 - システムに複数の電源がある場合、システムから電源を切り離すには、すべての電源ケーブルを電源装置から抜いてください。
- ◎ 製品の移動は気をつけて行ってください。カメラカバーなどがしっかり装着されているか確認してください。

静電気障害を防止するために

静電気は、システム内部の精密なコンポーネントを損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、マイクロプロセッサなどの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。シャーシの塗装されていない金属面に定期的に触れることにより、身体の静電気を逃がすことができます。

さらに、静電気放出 (ESD) による損傷を防ぐため、以下の手順を実行することをお勧めします。

1. 静電気に敏感なコンポーネントを箱から取り出す時は、コンポーネントをシステムに取り付ける準備が完了するまで、コンポーネントを静電気防止包装から取り出さないでください。静電気防止包装から取り出す直前に、必ず身体の静電気を逃してください。
2. 静電気に敏感な部品を運ぶ場合、最初に静電気防止容器またはパッケージに入れてください。
3. 静電気に敏感なコンポーネントの取り扱いは、静電気のない場所で行います。可能であれば、静電気防止床パッド、作業台パッド、および帯電防止接地ストラップを使用してください。

バッテリーの取り扱いについて

⚠ 警告

不適切なバッテリーの使用により、爆発などの危険性が生じることがあります。バッテリーの交換は、必ず同じものか、製造者が推奨する同等の仕様のものをご使用ください。バッテリーの廃棄については、製造者の指示に従って行ってください。

電源の異常

万一停電などの電源異常が発生した場合は、必ず本スイッチの電源プラグを抜いてください。電源が再度供給できる状態になってから電源プラグを再度接続します。

設置のしかた

1

本製品の各部名称や、設置する際の準備・方法について説明します。
設置を行う際にお読みください。

■ パッケージの内容	11
■ 動作環境	11
■ 設置についてのご注意	11
■ 本体各部名称	12
前面	12
ケーブルコネクタ	12
内部	13
■ LED表示	13
電源 / リンクLED	13
■ 製品の接続	14
■ microSDカードの挿入	14
■ 製品の設置	15
マウントプレートを使用して設置する	15
角度の調整	16
■ インストールウィザード	17
■ mydlink	18
mydlink アカウントへのアクセス方法	18

パッケージの内容

本製品には、以下のものが同梱されています。

- 本体
- ネットワークケーブル
- ACアダプタ
- CD-ROM
- マニュアル
- マウントキット
- シリアルラベル

不足しているものや損傷を受けているものがありましたら、弊社ホームページにてユーザ登録を行い、サポート窓口までご連絡ください。

動作環境

本製品の動作には、以下の環境が必要です。

- 以下のブラウザをサポートしているコンピュータ
 - Microsoft Internet Explorer 9 以降
 - Apple Safari 4 以降
- イーサネットへの接続
- microSDメモリカード
映像を保存するにはMicroSDメモリカードが必要です。Class 10以上のものを使用することをおすすめします。

設置についてのご注意

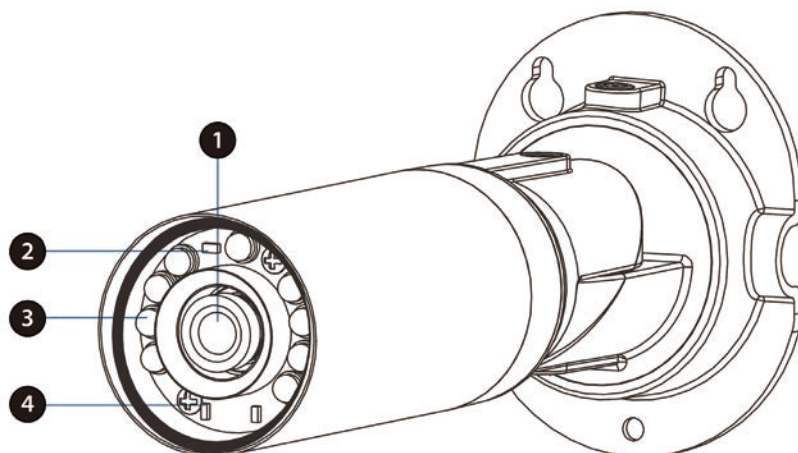
製品を設置する前に以下の注意事項をご確認ください。

- ◎ 電源ケーブルが電源ポートにしっかり差し込まれているか確認してください。
- ◎ 製品は動作環境範囲内の温度と湿度を保つことができる、なるべく涼しくて乾燥した場所に設置してください。
- ◎ 必ず付属のUTP ケーブル、AC アダプタをご使用ください。

本体各部名称

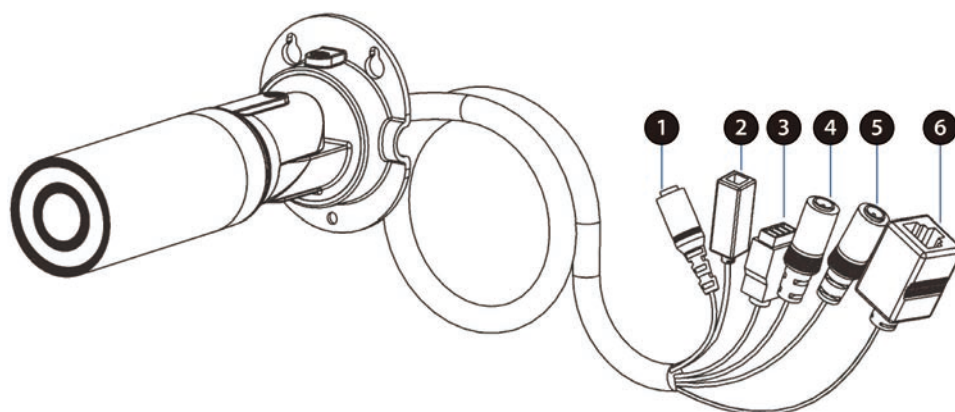
本製品の各部名称について説明します。

■前面



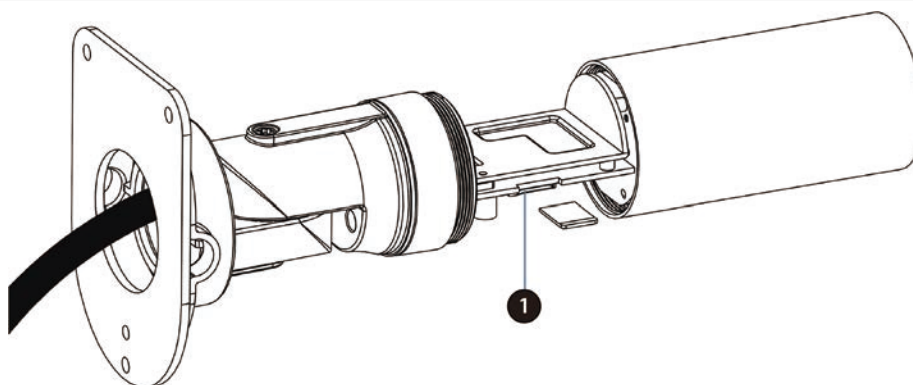
名称	説明
①カメラレンズ	撮影を行います。
②ICRセンサ	明るさを検知します。
③IR LED	赤外線LEDです。夜間など撮影環境の照度が低い場合に使用します。
④電源 / ステータスLED	電源およびリンクの状態を示します。

■ケーブルコネクタ



名称	説明
①電源コネクタ	付属の電源ケーブルを接続します。
②リセットボタン	設定を工場出荷時状態に戻すときに使用します。
③DI/DOコネクタ	センサーやアラームなど、外部インタフェースを接続する際に使用します。
④オーディオ出力 (緑)	スピーカーなどを接続し、音声の出力を行います。
⑤オーディオ入力 (赤)	マイクなどを接続し、音声の入力を行います。
⑥イーサネットポート	イーサネットケーブルを接続します。

■内部



名称	説明
①microSD挿入口	microSDカードを挿入します。

メモ

- ・ microSDカードの挿入方法については、『[microSDカードの挿入:p.14](#)』を参照してください。

LED表示

電源 / ステータスLEDの表示内容について説明します。

● 電源 / リンクLED

色	状態	説明
緑	点滅	電源がはいっており、リンクが確立しています。
赤	点灯	電源がはいっています。リンクは確立していません。
—	消灯	電源がはいっていません。

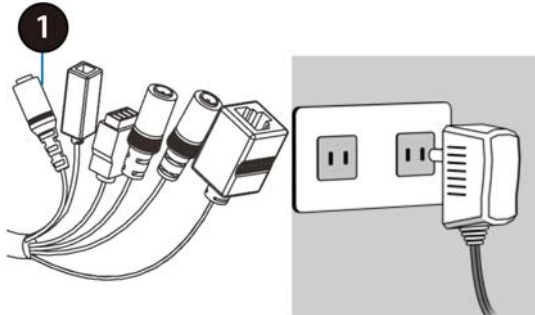
メモ

- ・ Web GUIの[MAINTENANCE]>[Admin]のLEDセクションで、LED表示をOffに設定した場合は、電源が入っていてもLEDは点灯しません。

製品の接続

電源とネットワークに接続する方法について説明します。

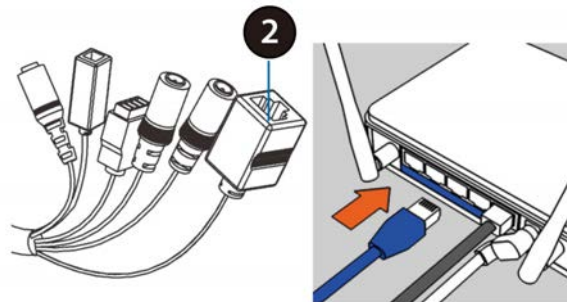
1. 電源ケーブルの一端を本体の電源コネクタ（①）に接続し、もう一端を電源に接続します。



重要

同梱されている電源ケーブルを使用してください。

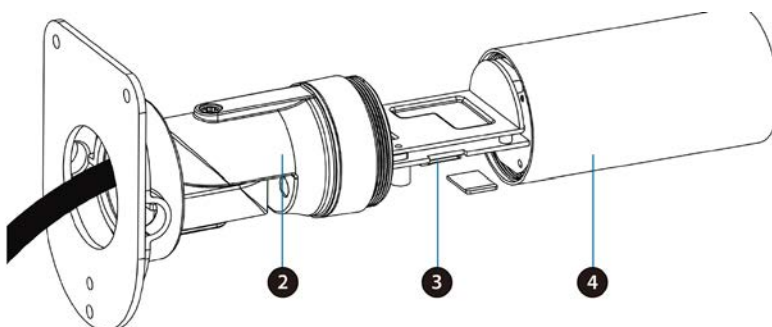
2. イーサネットケーブルの一端を本体のイーサネットポート（②）に接続し、もう一端をネットワーク機器に接続します。



microSDカードの挿入

microSDカードを挿入する方法について説明します。

1. 本製品を安定した場所に置きます。
2. 本製品のベース部分（②）を持ち、筒の部分（④）を左に回してはずします。
3. microSD カードスロット（③）に microSD カードを挿入します。
4. 筒（④）を右にまわしてしっかりと締めます。



⚠注意

- ・本製品の防水性を保つため、microSDカード設置後にしっかりと筒を締めてください。

製品の設置

本製品の設置方法について説明します。
設置を行う前に本製品の設定を行うことをおすすめします。

■マウントプレートを使用して設置する

1. カメラを取り付けたい場所にマウントプレートを置きます。穴の位置をマークします。

⚠注意

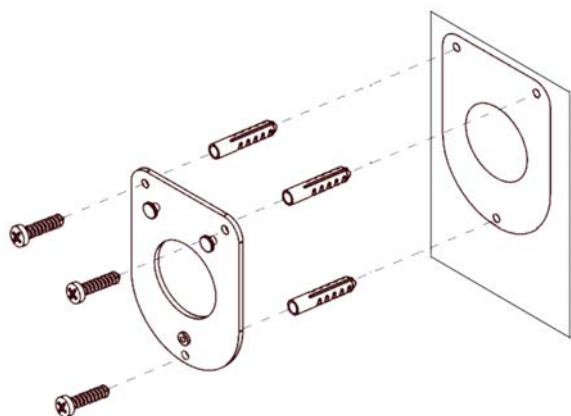
- ・マウントプレートが正しい方向になっていることを確認してください。
- ・カメラを設置した際に、必要なケーブルを接続する十分なスペースがあることを確認してください。

2. マウントプレート穴の位置を鉛筆などでマークします。
3. マークした位置に深さ約 25mm の穴をあけてください。

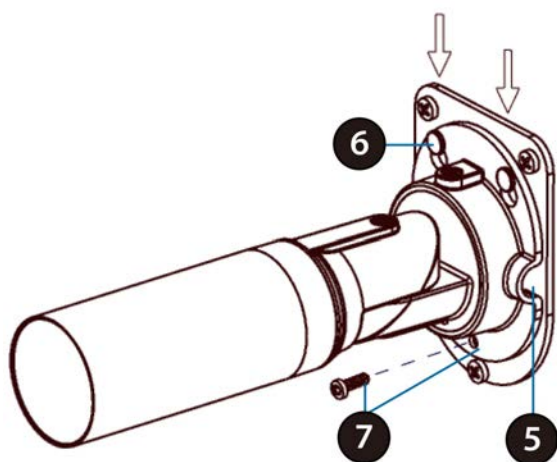
⚠注意

- ・穴をあける際は、取り付ける場所の材質に応じて、適切な器具を使用してください。

4. 穴の位置に合わせてマウントプレートを置き、マウントプレートをネジで取り付けます。



5. 本製品のケーブルを溝（⑤）に通します。
6. マウントプレートの2つの突起（⑥）にカメラの穴を合わせて置きます。
7. マウントプレートの穴（⑦）に残りのネジを挿入し、しっかりと締めて固定します。

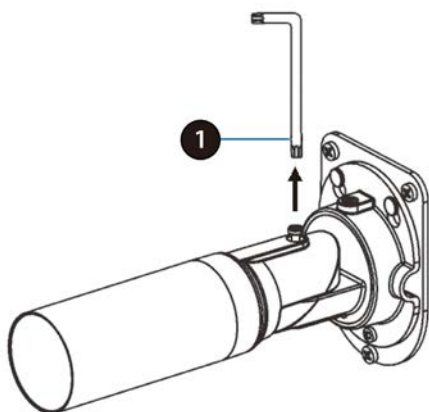


⚠注意

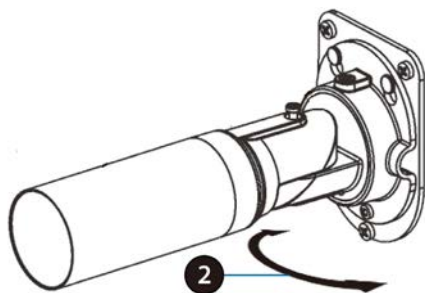
取り付け後、カメラがしっかりと固定されているか確認してください。

■角度の調整

1. カメラ本体上部のネジを緩めます (①)。



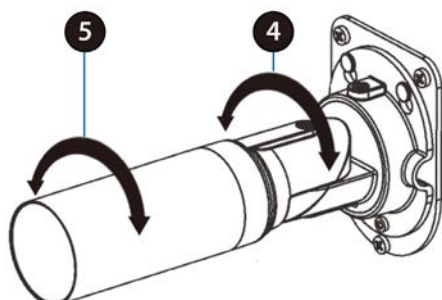
2. 希望の角度になるまでカメラを水平に動かします。



3. カメラ本体上部のネジを締めます。

4. ④の部分を回転させ、希望の位置に固定します。

5. ⑤の部分を回転させ、希望の位置に固定します。



インストールウィザード

同梱されたCD のインストールウィザードを利用して設定を行うことができます。

1. CD-ROM をお使いの PC に挿入し、セットアップウィザードを開始します。
2. [Set up your Cloud Camera] をクリックし、画面の表示にしたがって設定を行ってください。



重要

インストールウィザードでは、本製品のIPアドレスおよびユーザ名、アカウントの設定も行います。Web GUIにアクセスするため、以下の情報をメモしておいてください。

- 本製品のIPアドレス
- ユーザ名
- パスワード

mydlink

mydlinkを使用すると、インターネットに接続されたコンピュータを介して、mydlinkに登録されたデバイスを閲覧・制御することができます。

重要

- mydlinkサイトからのお問い合わせページは利用ができませんので、ご注意ください。
お問合せは、mydlinkサイトのお問合せメニューからではなく、必ず下記のディーリンクジャパンのサポートページからお問合せください。
<http://www.dlink-jp.com/support/contact>


● mydlink アカウントへのアクセス方法

1. インターネットに接続されたコンピュータ上で Web ブラウザを開きます。
2. アドレスバーに <http://www.mydlink.com> を入力し、Enter を押下します。
3. アカウントを入力してサインインします。

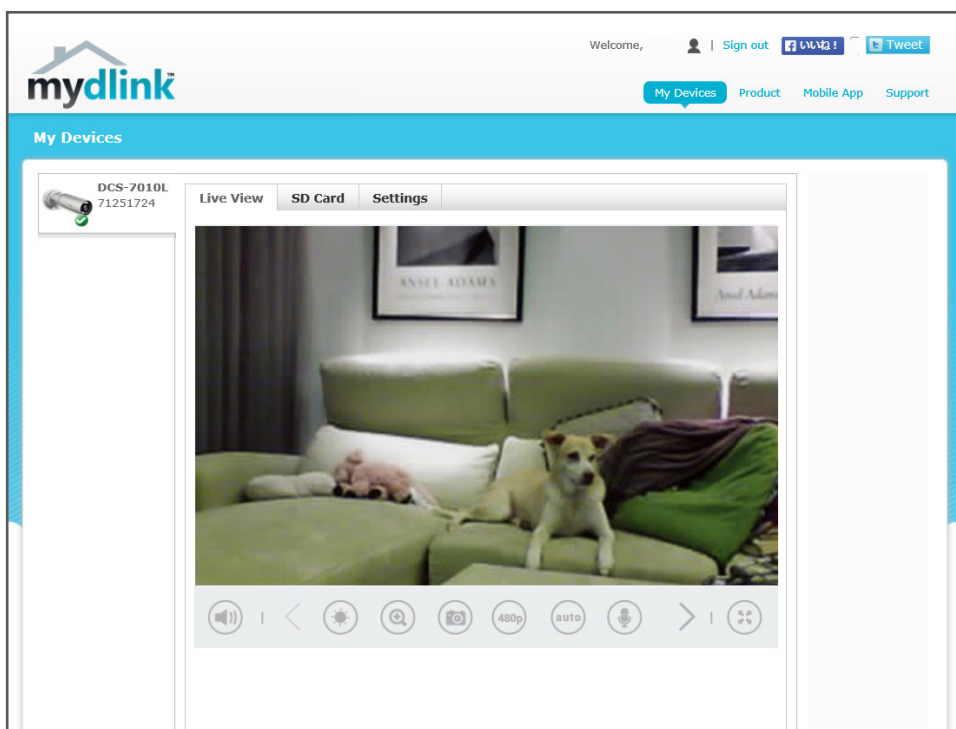
重要

- Java およびActiveXの両方をブラウザがサポートしており、これらの機能がインストールされ有効化されていることをご確認ください。
- Windows はデフォルトでJava がインストールされていません。<http://www.java.com> から最新バージョンをダウンロードすることができます。
- MAC OS X 10.7.xにおいて、Java アプレットはデフォルトで無効化されています。Java アプレットを有効化するには、Finder > アプリケーション > ユーティリティ > Java Preferences をクリックし、アプレットプラグインとWeb 開始アプリケーションオプションが有効になっていることを確認してください。
- IE 内のActiveX® コントロールは必要に応じて自動的にインストールされます。ツール > インターネットオプション > セキュリティ > カスタムレベル内の関連オプションが有効化されていることを確認することをお勧めします。

メモ

- 付属のCD-ROMからインストールウィザードを実行すると、PCのデスクトップにmydlinkへのショートカットが作成されます。ショートカットをクリックするとmydlinkのログイン画面にアクセスすることができます。
- mydlink画面右下の  アイコンで、表示言語を選択することができます。

◆ mydlink 画面の例:



WEB GUI 画面について 3

本製品は、WEB GUI画面から設定・操作を行うことができます。
WEB GUI画面へのログイン方法と画面構成について説明します。

■ WEB GUI画面へのログイン	20
■ WEB GUI画面からのログアウト	20
■ Web GUI画面の構成	21
LIVE VIDEO	21
SETUP	22
ADVANCED	22
MAINTENANCE	23
STATUS	23
HELP	24

WEB GUI画面へのログイン

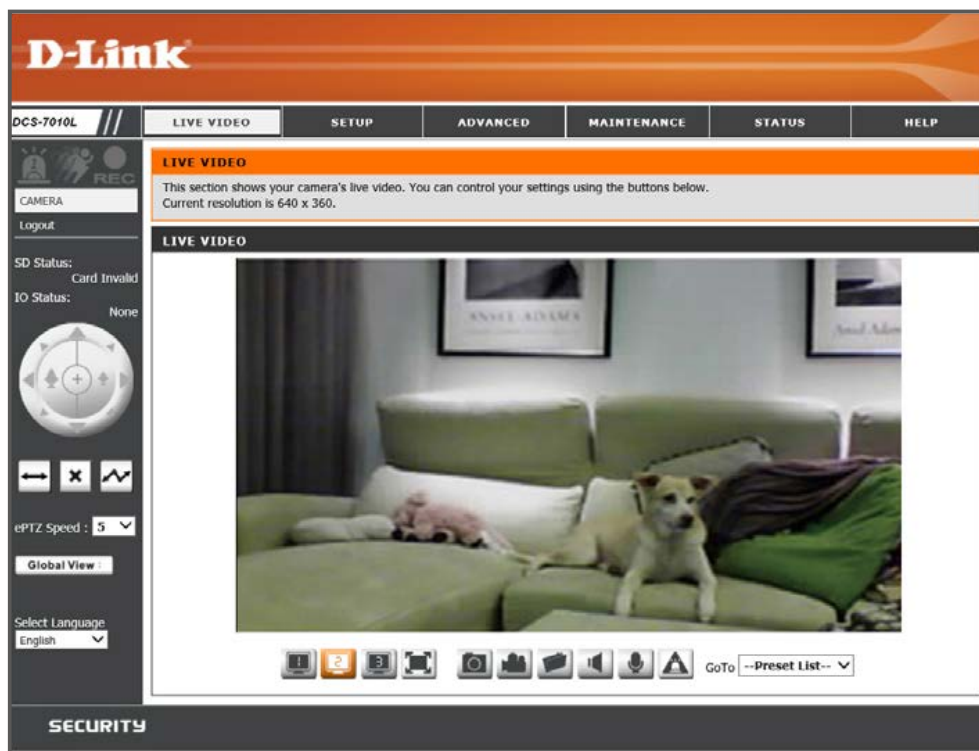
1. Web ブラウザを起動します。
2. Web ブラウザに本製品の IP アドレスを入力します。



3. ユーザ名とパスワードを入力します。



4. 以下の画面が表示されます。



メモ

- ・本製品のIPアドレス(初期値)は「192.168.0.20/24」です。
- ・IPアドレス・ユーザ名・パスワードはセットアップウィザードからも設定できます。

WEB GUI画面からのログアウト

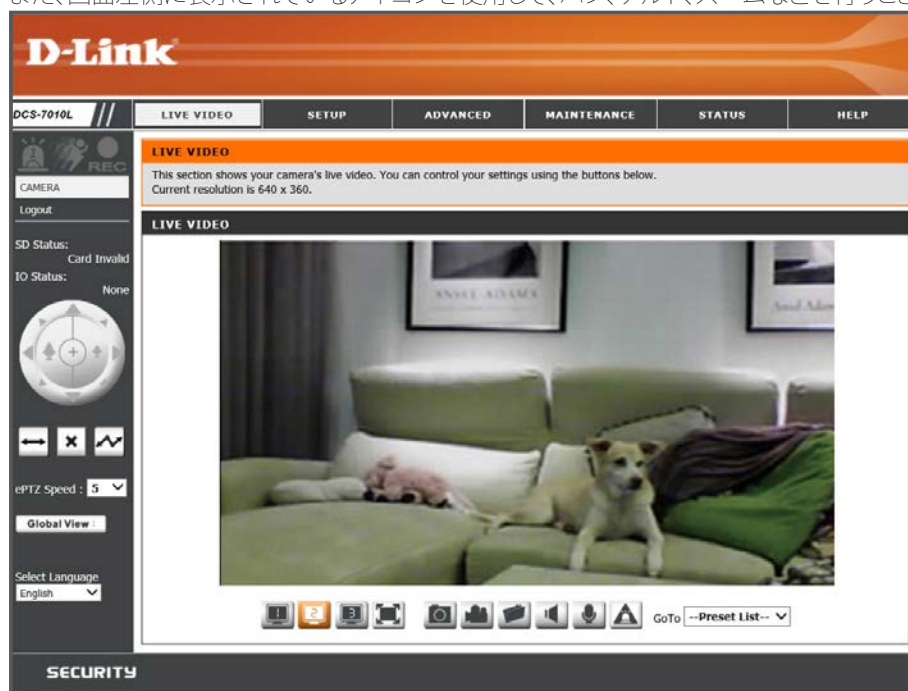
1. 画面左側のメニューにある [logout] をクリックします。
2. 以下の画面で [Logout] をクリックします。



Web GUI画面の構成

LIVE VIDEO

Web GUIへのログイン後に表示される画面です。現在カメラがとらえている映像が表示されます。また、画面左側に表示されているアイコンを使用して、パン、チルト、ズームなどを行うことができます。



アイコン/UI	説明
	デジタル入力が行われているときに点灯します。
	動体検知が行われているときに点灯します。
	録画が行われているときに点灯します。
	ePTZコントローラです。パン、チルト、ズームを行うことができます。 ・ 三角マーク：パン（左右に動く）とチルト（上下に動く）を行います。 ・ 木のマーク：ズームを行います。 ・ +マーク：初期設定の位置に戻します。
	オートパンを行います。
	実行中のオートパンまたはプリセットシーケンスの動作を停止します。
	プリセットシーケンスを実行します。 設定したプリセットリストにしたがって撮影位置を変更します。『 Preset:p.38 』
ePTZ Speed	オートパンを行うスピードを設定します。数値が大きいほどスピードが速くなります。
Global View	カメラの視野全体がこのUIの下に表示されます。
Select Language	Web GUIの表示言語を選択します。
	プロファイルを選択します。各プロファイルのフレームサイズなどの設定は、Audio and Video画面で行います。『 Audio and Video:p.36 』
	画像を全画面表示にします。
	スナップショットを作成します。
	録画を行います。
	ストレージフォルダを指定します。
	カメラの内蔵マイクからPCのスピーカーへ音声を送信します。
	PCに接続されたマイクからカメラに接続されたスピーカーへ音声を送信します。
	デジタル入力を行います。

■ SETUP

ネットワーク設定やプロファイル設定など、カメラの機能の基本的な設定を行います。
『Set Up (基本設定): p.25』

D-Link

DCS-7010L // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Setup Wizard
Network Setup
Dynamic DNS
Image Setup
Audio and Video
Preset
Motion Detection
Time and Date
Event Setup
SD Card
Logout

INTERNET CONNECTION SETTINGS

In this section, you can setup the IP camera's wired network interface settings. If you are configuring this device for the first time, D-Link recommends that you click the Setup Wizard button, and follow the instructions on screen. If you wish to modify or configure the IP camera settings manually, click manual setup to enable the IP camera connection setup.

Internet Connection Setup Wizard Manual Internet Connection Setup

IP CAMERA MOTION DETECTION SETTINGS

In this section, you can setup the IP camera's Motion Detection settings. If you are configuring this device for the first time, D-Link recommends that you click the Setup Wizard button, and follow the instructions on screen. If you wish to modify or configure the Motion Detection manually, click manual setup to enable the Motion Detection setup.

Motion Detection Setup Wizard Manual Motion Detection Setup

Helpful Hints..

If you are an advanced user and have configured an Internet camera before, click 'Manual Internet Connection Setup' to input all settings manually.

If you consider yourself an advanced user and you want to manually set up motion detection settings, click 'Manual Motion Detection Setup' to input all the settings manually.

■ ADVANCED

DI/DO (デジタル入力/出力) やICR(IR Cut Removable)機能、アクセスリストによるセキュリティの設定など、カメラの詳細設定を行います。
『Advanced (詳細設定): p.49』

D-Link

DCS-7010L // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

DI and DO
ICR and IR
HTTPS
Access List
SNMP
Logout

DI AND DO

The I/O connector provides the physical interface for digital output (DO) and digital input (DI) that is used for connecting a diversity of external alarm devices such as IR-Sensors and alarm relays.

The digital input is used for connecting external alarm devices and once triggered images will be taken and e-mailed.

Save Settings Don't Save Settings

DI AND DO

Digital Input 1: The active state is ; the current state detected is **Normal Open**

Digital Output: The active state is

Save Settings Don't Save Settings

Helpful Hints..

The network IP camera provides a general I/O terminal block with one digital input and one relay switch for device control. Pin DI+ and pin DI- can be connected to an external sensor and the state of voltage will be monitored from the initial state 'LOW'. The relay switch of pin DO+ and pin DO- can be used to turn on or off the external device. Please refer to manual for detail connection diagram.

■ MAINTENANCE

ユーザアカウントの設定やファームウェアアップグレードなど、製品のメンテナンスを行います。
『Maintenance(メンテナンス):p.55』

DCS-7010L		LIVE VIDEO	SETUP	ADVANCED	MAINTENANCE	STATUS	HELP
Admin	<div> <div>ADMIN</div> <p>Here you can change the administrator's password for your IP camera as well as add and/or delete user account(s). You can configure the information, such as IP camera's name and time via this page. You can also enable the OSD (On-Screen Display) feature in order to display the IP camera name and time stamp for your video recordings.</p> <div>ADMIN PASSWORD SETTING</div> <div> New Password <input type="text"/> 63 characters maximum Retype Password <input type="text"/> <input type="button" value="Save"/> </div> <div>ADD USER ACCOUNT</div> <div> User Name <input type="text"/> 20 users maximum New Password <input type="text"/> 63 characters maximum Retype Password <input type="text"/> <input type="button" value="Add"/> </div> <div>USER LIST</div> <div> User Name <input type="text"/> -- User list -- <input type="button" value="Delete"/> </div> <div>DEVICE SETTING</div> <div> IP camera Name <input type="text"/> DCS-7010L 63 characters maximum <input checked="" type="checkbox"/> Enable OSD Label <input type="text"/> DCS-7010L 30 characters maximum Show Time <input checked="" type="checkbox"/> <input type="button" value="Save"/> </div> <div>LED</div> <div> LED <input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off <input type="button" value="Save"/> </div> </div>						Helpful Hints..
System							
Firmware Upgrade							
Logout							

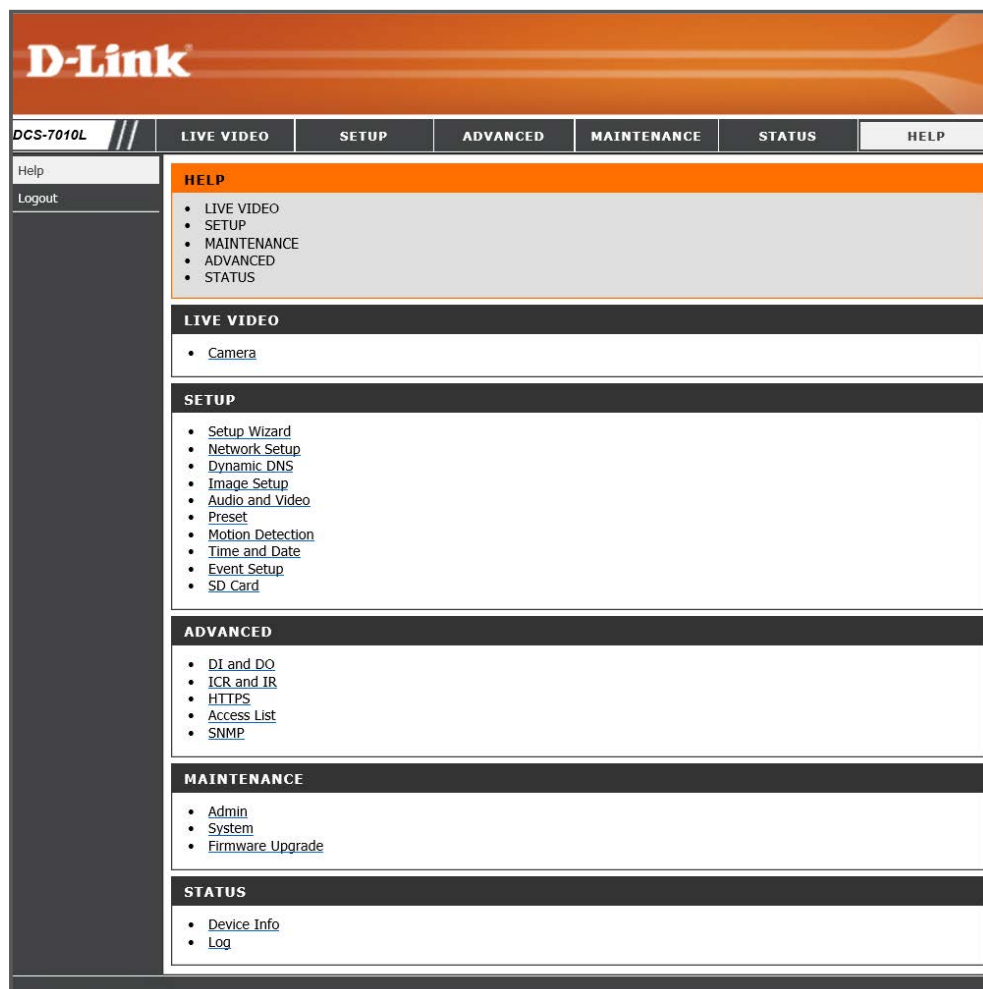
■ STATUS

デバイス情報およびログの表示を行います。
『Status(ステータス):p.60』

DCS-7010L		LIVE VIDEO	SETUP	ADVANCED	MAINTENANCE	STATUS	HELP																								
Device Info	<div> <div>DEVICE INFO</div> <p>All of your network connection details are displayed on this page. The firmware version is also displayed here.</p> <div>INFORMATION</div> <table> <tr><td>IP camera Name</td><td>DCS-7010L</td></tr> <tr><td>Time & Date</td><td>Tue Jan 20 17:57:52 2015</td></tr> <tr><td>Firmware Version</td><td>1.03.07</td></tr> <tr><td>MAC Address</td><td>B0:CS:54:00:39:3F</td></tr> <tr><td>IP Address</td><td>172.16.1.59</td></tr> <tr><td>IP Subnet Mask</td><td>255.255.255.0</td></tr> <tr><td>Default Gateway</td><td>172.16.1.1</td></tr> <tr><td>Primary DNS</td><td>172.16.1.2</td></tr> <tr><td>Secondary DNS</td><td>172.16.1.3</td></tr> <tr><td>PPPoE</td><td>Disable</td></tr> <tr><td>DDNS</td><td>Disable</td></tr> <tr><td>Agent Version</td><td>2.0.17-b41</td></tr> </table> </div>						IP camera Name	DCS-7010L	Time & Date	Tue Jan 20 17:57:52 2015	Firmware Version	1.03.07	MAC Address	B0:CS:54:00:39:3F	IP Address	172.16.1.59	IP Subnet Mask	255.255.255.0	Default Gateway	172.16.1.1	Primary DNS	172.16.1.2	Secondary DNS	172.16.1.3	PPPoE	Disable	DDNS	Disable	Agent Version	2.0.17-b41	Helpful Hints..
IP camera Name							DCS-7010L																								
Time & Date							Tue Jan 20 17:57:52 2015																								
Firmware Version	1.03.07																														
MAC Address	B0:CS:54:00:39:3F																														
IP Address	172.16.1.59																														
IP Subnet Mask	255.255.255.0																														
Default Gateway	172.16.1.1																														
Primary DNS	172.16.1.2																														
Secondary DNS	172.16.1.3																														
PPPoE	Disable																														
DDNS	Disable																														
Agent Version	2.0.17-b41																														
Log																															
Logout																															

■HELP

Web GUI画面上部の[Help]をクリックすると、以下の画面が表示されます。
確認したい項目をクリックし、説明を参照してください。



Set Up (基本設定)

ネットワーク設定やプロファイルの設定、動体検知設定など、カメラの機能設定を行います。

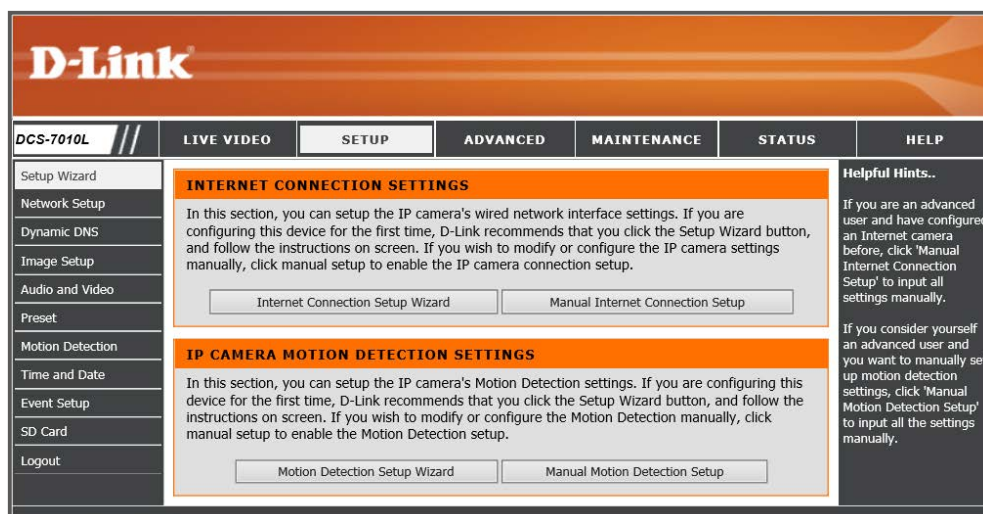
4

■ Setup Wizard	26
インターネット接続設定	26
IPカメラ動体検知設定	28
■ Network Setup	30
LAN設定	31
PPPoE設定	31
HTTP設定	31
HTTPS設定	32
RTSP設定	32
CoS設定	32
QoS設定	32
IPv6設定	33
Multicast設定	33
■ Dynamic DNS	34
■ Image Setup	35
■ Audio and Video	36
■ Preset	38
■ Motion Detection	40
■ Time and Date	41
■ Event Setup	42
SERVER	43
MEDIA	44
EVENT	45
RECORDING	47
■ SD Card	48

Setup Wizard

[\[SETUP\] > \[Setup Wizard\]](#)

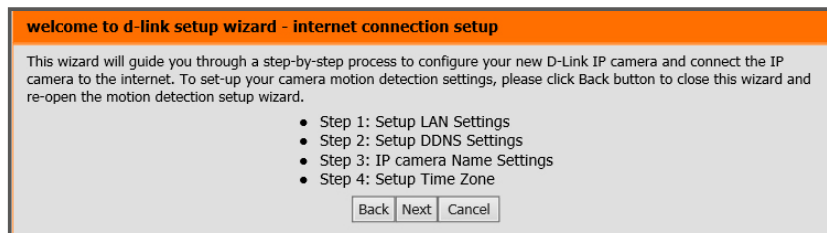
インターネット接続設定と動体検知設定を行います。ウィザードによる設定または手動設定を選択することができます。最初に設定を行う場合は、ウィザードの使用をおすすめします。



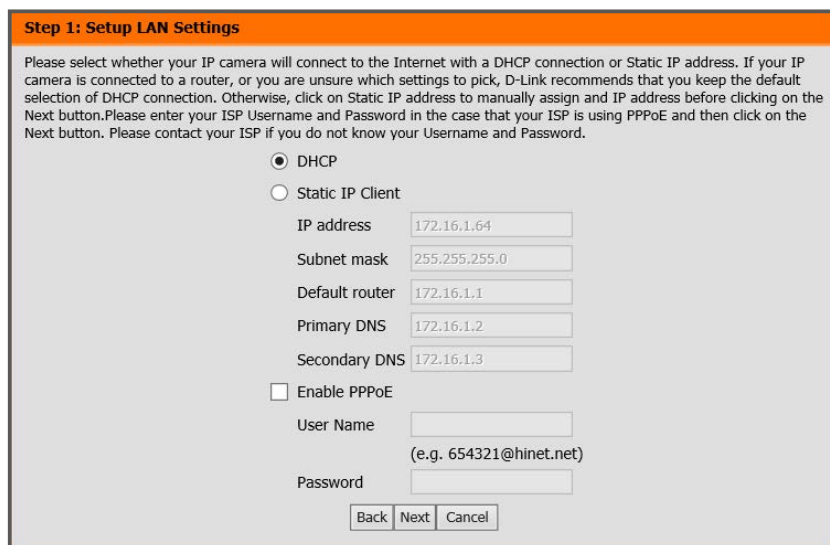
■ インターネット接続設定

◆ ウィザードで設定を行う場合

1. [Internet Connection Setup Wizard] をクリックします。
2. [Next] をクリックします。



3. LAN の設定を行った後、[Next] をクリックします。



- DHCP: DHCPサーバを使用してIPアドレスを自動的に割り当てます。
- Static IP Client: 固定のIPアドレスを設定します。
- Enable PPPoE: PPPoEを有効にします。有効にした場合はユーザ名とパスワードを入力します。

4. ダイナミック DNS の設定を行った後、[Next] をクリックします。

Step 2: Setup DDNS Settings

If you have a Dynamic DNS account and would like the IP camera to update your IP address automatically, enable DDNS and enter in your host information below. Please click on the Next button to continue.

Enable DDNS ☐

Server Address <<

Host Name

User Name

Password

Verify Password

Timeout (hours)

- Enable DDNS: ダイナミックDNSを有効にします。有効にした場合は以下の項目を入力します。
- Server Address: サーバ名を入力します。
- Host Name: ホスト名を入力します。
- User Name: ユーザ名を入力します。
- Password: パスワードを入力します。
- Verify Password: 確認のため再度パスワードを入力します。
- Timeout: タイムアウトする時間を入力します。

5. IP カメラの名称を設定した後、[Next] をクリックします。

Step 3: IP camera Name Settings

D-Link recommends that you rename your IP camera for easy accessibility. You can then identify and connect to your IP camera via this name. Please assign a name of your choice before clicking on the Next button.

IP camera Name

6. タイムゾーンの設定を行った後、[Next] をクリックします。

Step 4: Setup Time Zone

Please configure the correct time to ensure that all events are triggered, captured and scheduled at the correct time and day and then click on the Next button.

Time Zone

Enable Daylight Saving ☐

- Time Zone: タイムゾーンを選択します。
- Enable Daylight Saving: サマータイムを有効にします。

7. 設定内容を確認→[Apply] をクリックし、設定を適用します。

Step 5: Setup complete

Below is a summary of your IP camera settings. Click on the Back button to review or modify settings or click on the Apply button if all settings are correct. It is recommended to note down these settings in order to access your IP camera on the network or via your web browser.

IP Address	DHCP
IP camera Name	DCS-7010L
Time Zone	(UTC+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo
DDNS	Disable
PPPoE	Disable

◆ 手動で設定を行う場合

[Manual Internet Connection Setup]をクリック → Network Setup画面で設定を行います。

メモ

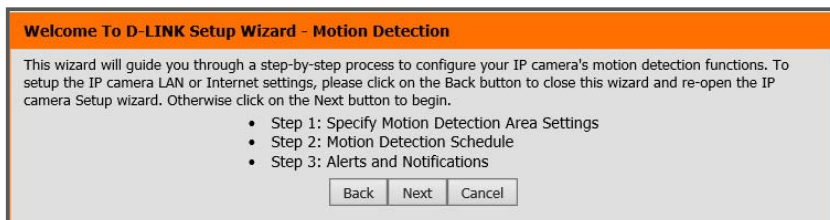
Network Setup画面の設定内容については、『[Network Setup:p.30](#)』を参照してください。

■IPカメラ動体検知設定

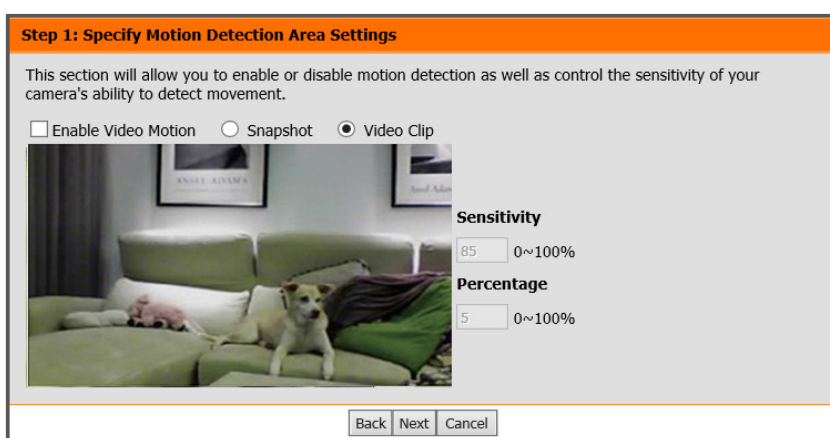
◆ ウィザードで設定を行う場合

[Motion Detection Setup Wizard]をクリックし、画面の説明にしがいます。

1. [Motion Detection Setup Wizard] をクリックします。
2. [Next] をクリックします。



3. 動体検知の有効 / 無効と検知の感度を設定→ [Next] をクリックします。

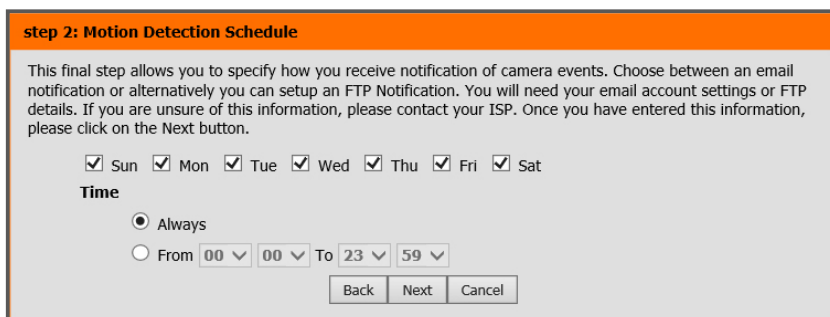


- Enable Video Motion : 動体検知を有効にします。
- Snapshot : スナップショットを作成します。
- Video Clip : ビデオクリップを作成します。
- Sensitivity : 動体検知の感度を設定します。数値が大きいくほど感度がよくなり、動体が検知されやすくなります。
- Percentage: 設定した検知エリアで動体の占める割合を設定します。数値が小さいほど動体が検知されやすくなります。

メモ

動体検知を有効にした場合は、画像内で動体検知を行うエリアを選択してください。
左クリックしながらマウスを移動させると、エリアを選択できます。
画像内でマウスを右クリックすると、[Select All][Clear All][Restore]の動作を選択できます。

4. 動体検知を行うスケジュール設定→ [Next] をクリックします。



5. 通知の設定を行った後、[Next] をクリックします。

Step 3: Alerts and Notification

This final step allows you to specify how you receive notification of camera events. Choose between an email notification or alternatively you can setup an FTP Notification. You will need your email account settings or FTP details. If you are unsure of this information, please contact your ISP. Once you have entered this information, please click on the Next button.

☐ Do not notify me
☒ Email

Sender email address
 Recipient email address
 Server address
 User name
 Password
 Port

☐ FTP

Server address
 Port
 User name
 Password
 Remote folder name

Back Next Cancel

- Do not notify me : 通知を行いません。
- Email: E-Mailによる通知を行います。
- FTP: FTPサーバによる通知を行います。

6. 設定内容を確認→ [Apply] をクリックし、設定を適用します。

Step 4: Setup Complete

You have completed your IP camera setup. Please click the Back button if you want to review or modify your settings or click on the Apply button to save and apply your settings.

Motion Detection : Disable
 EVENT : Video Clip
 Schedule Day : Sun , Mon , Tue , Wed , Thu , Fri , Sat ,
 Schedule Time : Always
 Alerts and Notification : Do not notify me

Back Apply Cancel

◆ 手動で設定を行う場合

[Manual Motion Detection Setup]をクリック → Motion Detection画面で設定を行います。

メモ

Motion Detection画面の設定内容については、『[Motion Detection:p.40](#)』を参照してください。

Network Setup

[\[SETUP\] > \[Network Setup\]](#)

本製品のIPアドレスなど、ネットワークの設定を行います。
設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

DCS-7010L

LIVE VIDEO

SETUP

ADVANCED

MAINTENANCE

STATUS

HELP

Setup Wizard

Network Setup

Dynamic DNS

Image Setup

Audio and Video

Presets

Motion Detection

Time and Date

Event Setup

SD Card

Login

NETWORK SETUP

You can configure your LAN and Internet settings here.

Save Settings

Don't Save Settings

LAN SETTINGS

DHCP

Static IP Client

IP address

255.255.255.0

Subnet mask

255.255.255.0

Default router

255.255.255.1

Primary DNS

255.255.255.2

Secondary DNS

255.255.255.3

Enable UPnP presentation

Enable UPnP port forwarding

Forwarding Port

1024

7000

Forwarding Status

UPnP forwarding is inactive.

PPPOE SETTINGS

Enable

Disable

User Name

Password

Confirm password

PPPoE Status

PPPoE is inactive.

HTTP

HTTP port

80

Access name for stream1

video1.mjpg

Access name for stream2

video2.mjpg

Access name for stream3

video3.mjpg

HTTPS

HTTPS port

443

RTSP

Authentication

Digest

RTSP port

554

Access name for stream1

live1.sdp

Access name for stream2

live2.sdp

Access name for stream3

live3.sdp

COS SETTINGS

Enable CoS

VLAN ID

1

0-4095

Live video

0

Live audio

0

Event/Alarm

0

Management

0

QoS SETTINGS

Enable QoS

Live video

0

Live audio

0

Event/Alarm

0

Management

0

IPv6

Enable IPv6

IPv6 information

Manually setup the IP address

Optional IP address / Prefix length

/ 64

Optional default router

Optional primary DNS

MULTICAST

Enable multicast for stream 1

Multicast group address

224.0.0.1

Multicast video port

8000

Multicast RTPC video port

8001

Multicast audio port

8002

Multicast RTPC audio port

8003

Multicast TTL [1-255]

64

Enable multicast for stream 2

Multicast group address

224.0.0.2

Multicast video port

8004

Multicast RTPC video port

8005

Multicast audio port

8006

Multicast RTPC audio port

8007

Multicast TTL [1-255]

64

Enable multicast for stream 3

Multicast group address

224.0.0.3

Multicast video port

8008

Multicast RTPC video port

8009

Multicast audio port

8010

Multicast RTPC audio port

8011

Multicast TTL [1-255]

64

Save Settings

Don't Save Settings

Helpful Hints...

Select DHCP Connection if you are connecting a DHCP server on your network and would like an IP address assigned to your IP camera automatically.

UPnP: Enabling UPnP settings will allow you to configure your IP camera as an UPnP device in the network.

PPPoE Setting: If you use the IP camera to connect directly to the Internet, you will need to enter the username and password, which were given to you when you set up your account with your Internet Service Provider. If the camera is behind a router or a gateway, you do not need to configure the setting.

HTTP: HTTP Port is the port you allocate in order to connect to the IP camera via a standard web browser.

HTTPS: HTTPS Port is a IP camera connects it with a PC via a secure web browser.

RTSP: RTSP Port is the port you allocate in order to connect to a IP camera by using streaming mobile device (S), such as a mobile phone or PDA.

CoS (Class of Service): Coarsely-grained traffic control based on the 8.2 protocol. Class of Service technologies do not guarantee a level of service in terms of bandwidth and delivery time, they offer a "best-effort".

QoS (Quality of Service): Finely-grained traffic control, a resource reservation control mechanism. Quality of service guarantees are important if the network capacity is insufficient, especially for real-time streaming multimedia applications.

Enable IPv6: Select this option and click Save to enable IPv6 setting. Please note that this only works if your network environment and hardware equipment support IPv6. The browser should be Microsoft® Internet Explorer 8.5, Mozilla Firefox 3.0 or above. When IPv6 is enabled, by default, the Network Camera will listen to router advertisements and be assigned a link-local IPv6 address accordingly.

IPv6 Information: Click this button to obtain the IPv6 information. If your IPv6 setting are successful, the IPv6 address list will be listed in the pop-up window. Please follow the steps below to link to an IPv6 address:
1) Open your web browser.
2) Enter the link-local or link-local IPv6 address in the address bar of your web browser.
3) Press Enter on the keyboard or click Refresh button to refresh the webpage.

Manually setup the IP address: Select this option to manually configure IPv6 setting if your network environment does not have DHCPv6 server and advertisement-enabled routers.

Multicast: Click the items to display the detailed configuration information. Select the Always multicast option to enable multicast for stream 1 ~ 3.
Unicast video transmission delivers a stream through point-to-point transmission; multicast, on the other hand, sends a stream to the multicast group address and allows multiple clients to acquire the stream at the same time by requesting a copy from the multicast group address. Therefore, enabling multicast can effectively save network bandwidth.

Multicast RTP video, audio port/Multicast RTPC video, audio port: The ports can be changed to values between 1024 and 65534. The multicast RTP port must be an even number and the multicast RTPC port number is the multicast RTP port number plus one, and then is always odd. When the multicast RTP port changes, the multicast RTPC port will change accordingly.
Multicast TTL [1-255]: The multicast TTL (Time To Live) is the value that tells the router the range a packet can be forwarded.

30

● LAN設定

LAN SETTINGS

☒ DHCP
☐ Static IP Client

IP address
Subnet mask
Default router
Primary DNS
Secondary DNS

☒ Enable UPnP presentation
☐ Enable UPnP port forwarding

Forwarding Port
Forwarding Status UPnP forwarding is inactive

◆ DHCP	DHCPサーバを使用してIPアドレスを自動的に割り当てます。
◆ Static IP Client	固定のIPアドレスを割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> • [IP address]: IPアドレスを入力します。 • [Subnet mask]: サブネットマスクを入力します。 • [Default router]: デフォルトルータIPアドレスを入力します。 • [Primary DNS]: プライマリDNSサーバを入力します。 • [Secondary DNS]: セカンダリDNSサーバを入力します。
◆ Enable UPnP presentation	有効にすると、本製品がUPnPデバイスとして機能します。
◆ Enable UPnP port forwarding	UPnPポートフォワーディングを有効にします。 有効にした場合はポート番号を入力します。[Test]をクリックするとテストを実行します。 本製品がUPnP対応のネットワーク上で自動的にルータにポートフォワーディングエントリを追加することができます。

● PPPoE設定

PPPOE SETTINGS

☐ Enable ☒ Disable

User Name
Password
Confirm password
PPPoE Status PPPoE is inactive.

◆ Enable/Disable	PPPoE設定を[Enable](有効)または[Disable](無効)にします。 有効にした場合は以下の項目を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • [User Name]: ユーザ名を入力します。 • [Password]: パスワードを入力します。 • [Confirm password]: 確認のため再度パスワードを入力します。 • [PPPoE Status]: PPPoEのステータスが表示されます。
------------------	---

● HTTP設定

HTTP

HTTP port
Access name for stream1
Access name for stream2
Access name for stream3

◆ HTTP port	HTTPポート番号を設定します。(初期値:80)
◆ Access name for stream1-3	ストリームのアクセス名を設定します。 初期値は「video#.mjpg」(#はストリームの番号)です。

4. Set Up (基本設定)

● HTTPS設定

HTTPS	
HTTPS port	<input type="text" value="443"/>

◆ **HTTPS port** HTTPSポート番号を設定します。(初期値:443)

● RTSP設定

RTSP	
Authentication	<input type="text" value="Digest"/>
RTSP port	<input type="text" value="554"/>
Access name for stream1	<input type="text" value="live1.sdp"/>
Access name for stream2	<input type="text" value="live2.sdp"/>
Access name for stream3	<input type="text" value="live3.sdp"/>

◆ **Authentication** 認証方法を選択または無効にします。
選択肢:
• [Digest] (ダイジェスト認証)
• [Disable] (無効)

◆ **RTSP port** RTSPポート番号を設定します。(初期値:554)

◆ **Access name for stream1-3** ストリームのアクセス名を設定します。
初期値は「video#.mjpg」(#はストリームの番号)です。

● CoS設定

COS SETTINGS	
<input type="checkbox"/> Enable CoS	
VLAN ID	<input type="text" value="1"/> [0~4095]
Live video	<input type="text" value="0"/>
Live audio	<input type="text" value="0"/>
Event/Alarm	<input type="text" value="0"/>
Management	<input type="text" value="0"/>

◆ **Enable CoS** CoS (Class of Service) を有効にします。
• [VLAN ID]: VLAN IDを入力します。
• [Live video]: ライブビデオの優先度を設定します。
• [Live audio]: 音声の優先度を設定します。
• [Event/Alarm]: イベント/アラームの優先度を設定します。
• [Management]: マネジメントの優先度を設定します。

● QoS設定

QOS SETTINGS	
<input type="checkbox"/> Enable QoS	
Live video	<input type="text" value="0"/>
Live audio	<input type="text" value="0"/>
Event/Alarm	<input type="text" value="0"/>
Management	<input type="text" value="0"/>

◆ **Enable QoS** QoS (Quality of Service) を有効にします。
• [Live video]: ライブビデオの優先度を設定します。
• [Live audio]: 音声の優先度を設定します。
• [Event/Alarm]: イベント/アラームの優先度を設定します。
• [Management]: マネジメントの優先度を設定します。

● IPv6設定

◆ Enable IPv6	CoSを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> • [VLAN ID]: VLAN IDを入力します。 • [Live Video & Audio]: ライブビデオ/音声の優先度を設定します。 • [Event/Alarm]: イベント/アラームの優先度を設定します。 • [Management]: マネジメントの優先度を設定します。
◆ IPv6 Information	IPv6の情報を表示します。
◆ Manually setup the IP address	IPv6アドレスの手動設定を有効にします。有効にした場合は以下の項目を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Optional IP address / Prefix length] • [Optional Default router] • [Optional primary DNS]

● Multicast設定

◆ Enable multicast for stream 1-3	マルチキャストストリームを有効にします。有効にした場合は以下の項目を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Multicast group address] • [Multicast video port] • [Multicast RTCP video port] • [Multicast audio port] • [Multicast RTCP audio port] • [Multicast TTL [1~255]]
--	--

Dynamic DNS

[SETUP] > [Dynamic DNS]

ダイナミックDNS (Dynamic Domain Name Server) の設定を行います。
ダイナミックDNSは、接続のたびに変わるIPアドレスとドメインを自動的に結びつける機能です。IPアドレスが変更されても、ドメイン名を入力してIPカメラに接続することができます。接続には設定したユーザ名とパスワードが必要となります。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

DCS-7010L

LIVE VIDEO

SETUP

ADVANCED

MAINTENANCE

STATUS

HELP

Setup Wizard

Network Setup

Dynamic DNS

Image Setup

Audio and Video

Preset

Motion Detection

Time and Date

Event Setup

SD Card

Logout

DYNAMIC DNS

The Dynamic DNS feature allows you to use a domain name that you have purchased (www.yourdomain.com) to access your IP camera with a dynamically assigned IP address. Most broadband Internet service providers assign dynamic (changing) IP addresses. By using a DDNS service, you can enter your domain name to connect to your IP camera no matter what your IP address is.
[Sign up for D-Link's Free DDNS service at www.DLinkDDNS.com.](#)

Save Settings

Don't Save Settings

DYNAMIC DNS SETTING

Enable DDNS

Server Address

Host Name

User Name

Password

Verify Password

Timeout

Status

☐

www.dlinkddns.com

<< www.dlinkddns.com

24

(hours)

Inactive

Save Settings

Don't Save Settings

Helpful Hints..

Dynamic DNS is useful if you have a DSL or Cable service provider that changes your modem IP address periodically. This will allow you to assign a website domain name to your IP camera instead of connecting through an IP address.

DYNAMIC DNS SETTING	
◆ Enable DDNS	ダイナミックDNSを有効にします。
◆ Server Address	ダイナミックDNSプロバイダを選択するか、手動でサーバのアドレスを入力します。
◆ Host Name	ホスト名を入力します。
◆ User Name	ユーザ名を入力します。
◆ Password	パスワードを入力します。
◆ Verify Password	確認のため再度パスワードを入力します。
◆ Timeout	タイムアウトする時間を入力します。
◆ Status	ダイナミックDNSの状態が表示されます。

Image Setup

[SETUP] > [Image Setup]

プライバシーマスク設定および画像設定を行います。

プライバシーマスクは、撮影したくないエリアを選択してマスクする機能です。画像設定では、ホワイトバランスや露出、鮮明度の設定を行い、画質の調整をすることができます。[IMAGE SETTINGS]欄で設定した内容はすぐに反映されます。

PRIVACY MASK AREA OF VIDEO SETTING

◆ Enable Privacy Mask Setting

プライバシーマスクを有効にします。有効にした場合は、画像上でマスクしたい部分を最大3箇所選択します。

左クリックしながらマウスを移動させると、エリアを選択できます。

画像内でマウスを右クリックすると、[Disable all][Enable all][Reset all]の動作を選択できます。

設定後、[Save]をクリックして設定を保存します。

IMAGE SETTING

◆ Anti Flicker

画像のちらつきを軽減します。

◆ Mirror

画像を180度水平方向に回転させます。

◆ Flip

画像を180度垂直方向に回転させます。

◆ Power Line

電源周波数 (50Hz/60Hz) による画像のちらつきを除去します。

◆ White Balance

撮影環境にあわせて色調の調節を行います。

[Auto](自動) / [Outdoor](屋外) / [Indoor](屋内) / [Fluorescent](蛍光灯) / [Push Hold](プッシュホールド) プッシュホールドは、複数の色彩が画面内で動く環境に適しています。(例: ディスコボール使用時など)

◆ Exposure Mode

撮影環境に合わせた露出モードを以下から選択し、画像センサーに入る光量を調整します。

[Auto](自動) / [Indoor](屋内) / [Outdoor](屋外) / [Night](夜間) / [Moving](動体) / [Low_noise](低ノイズ) / [Customize1-3](カスタマイズ1-3)

カスタマイズ設定を選択した場合は、シャッタースピードを設定します。

◆ Max Gain

最大ゲイン値を設定します。

◆ Denoise

ノイズを軽減します。

◆ Brightness

明るさを調整し、逆光を補正します。

◆ Contrast

曇天下での画質を改善します。

◆ Saturation

色の彩度を調整します。

◆ Sharpness

画像の鮮明さを調整します。

Audio and Video

[SETUP] > [Audio and Video]

ビデオプロファイルの設定と、音声の入出力設定を行います。
設定したプロファイルはLive Video画面で選択・表示することができます。
本製品では3つのプロファイルを設定することができます。PCやスマートフォンなど、閲覧する環境に適したサイズを設定してください。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

D-Link

DCS-7010L // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Setup Wizard
Network Setup
Dynamic DNS
Image Setup
Audio and Video
Preset
Motion Detection
Time and Date
Event Setup
SD Card
Logout

AUDIO AND VIDEO

This section allows you to configure the sound and video of your camera. You can configure different settings depending on whether you are viewing content from a PC or a Mobile Phone / PDA.

Save Settings Don't Save Settings

VIDEO SETTINGS

Aspect ratio 16:9 **Warning: Change the aspect ratio will clear the settings of privacy mask and preset and motion detection.**

Save Default

VIDEO PROFILE 1

Mode H.264
Frame size 1280x800
View window area 1280x800
Maximum frame rate 25
Video quality
Constant bit rate 1M
Fixed quality Excellent

VIDEO PROFILE 2

Mode JPEG
Frame size 640x360
View window area 640x360
Maximum frame rate 25
Video quality Excellent

VIDEO PROFILE 3

Mode H.264
Frame size 320x176
View window area 320x176
Maximum frame rate 25
Video quality
Constant bit rate 512K
Fixed quality Excellent

AUDIO SETTINGS

☐ Audio in off
Audio in gain level 20dB
☐ Audio out off
Audio out volume level 10

Save Settings Don't Save Settings

Helpful Hints..

Higher frame size, frame rate and bit rate gives better video quality. At the same time, it requires more network bandwidth.

For best viewing results on a mobile phone, we suggest setting the Frame Rate to 5fps and the Bit Rate to 64 kbps.

Aspect Ratio: An aspect ratio is the ratio between the width and height of an image.

Mode: It can be H.264, JPEG, or MPEG4. In JPEG mode, the video frames are independent. MPEG4 consumes much less network bandwidth than JPEG, and H.264 can use less bandwidth but better image quality.

Frame Size: 7 options exist for the sizes of the video display. It is recommended using 176x144 for mobile viewing and 1280x800 for computer viewing.

View window area: The viewing region of the current video stream.

Max frame rate: The maximum number of frames that is displayed in 1 second. 30fps is the highest video quality for this camera. In general, any frame rate above 15 fps is imperceptible to the human eye.

Video Quality: This limits the maximal refresh frame rate, which can be combined with the "Fixed quality" to optimize the bandwidth utilization and video quality. If the User wants to fix the bandwidth utilization regardless of the video quality, choose "Constant bit rate" and select the desired bandwidth.

Audio Settings: You can use the option to switch the external microphone on/off or adjust the volume.

メモ

[Frame size]および[View window area]の縦横比は以下のとおりです。

- 16:9
1280 x 800, 1280 x 720, 800 x 450, 640 x 360, 480 x 270, 320 x 176, 176 x 144
- 4:3
1024 x 768, 800 x 600, 640 x 480, 480 x 360, 320 x 240, 176 x 144

VIDEO SETTINGS	
◆ Aspect ratio	画面アスペクト比を[16:9]または[4:3]から選択し、[Save]をクリックします。 設定を初期状態に戻すには[Default]をクリックします。
VIDEO PROFILE 1-3	
◆ Mode	画像のフォーマットを以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [JPEG]: 画像をJPEG方式で圧縮します。 • [MPEG4]: JPEGよりも消費するネットワーク帯域が少なくなります。 • [H.264]: 画質を損なうことなくデータサイズとビットレートを抑えることが可能な効率のよい圧縮技術です。MPEGよりさらに少ない帯域で高品質な画質を保持できます。
◆ Frame size	画像のフレームサイズを設定します。
◆ View window area	Live Video画面に表示するウィンドウのサイズを設定します。
◆ Maximum frame rate	最大フレームレートを設定します。 設定値が高いほどよりなめらかな動きの映像が提供されますが、多くの帯域幅を必要とします。
◆ Video quality	画質を設定します。 [Fixed Quality]を選択すると、画質を優先し、それに応じた帯域幅が使用率されます。 帯域幅使用率を固定したい場合は、[Constant bit rate]でビットレートを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> • [Constant bit rate]: ビットレートを選択します。数値が高いほど高画質になります。 • [Fixed Quality]: 画質を[Excellent][Good][Standard]から選択します。
AUDIO SETTINGS	
◆ Audio in off	音声入力をオフにします。
◆ Audio in gain level	音声入力のゲインレベルを設定します。
◆ Audio out off	音声出力をオフにします。
◆ Audio out volume level	音声出力のボリュームレベルを設定します。

重要

- 画面アスペクト比の設定を変更すると、プライバシーマスク、プリセット、動体検知の設定内容がクリアされます。
- フレームレートとビットレートの数値を高く設定すると高画質の映像が提供されますが、より多くの帯域幅が消費されます。

Preset

[\[SETUP\]](#) > [\[Preset\]](#)

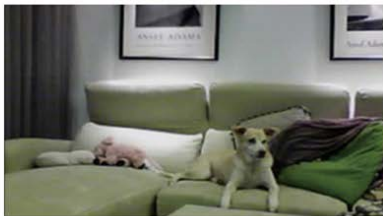
カメラを向ける位置をPRESET CONTROL欄で設定し、PRESET欄でプリセットポジションとしてカメラへ登録します。PRESET SEQUENCE欄では、複数のプリセットポジションを登録し、プリセットシーケンスとして複数の位置を巡回して撮影することもできます。

D-Link
DCS-7010L
LIVE VIDEO
SETUP
ADVANCED
MAINTENANCE
STATUS
HELP

Setup Wizard
Network Setup
Dynamic DNS
Image Setup
Audio and Video
Preset
Motion Detection
Time and Date
Event Setup
SD Card
Logout

PRESET CONTROL

Using the Pan and Tilt controls, move the camera view to the required position. There are provides the tools for creating and saving Preset positions & Preset Sequence.



VIDEO PROFILE : 1
ePTZ Speed : 5

↑
↓
←
→
Home

PRESET

Input Preset Name :
Add
Rename
Support(0~9,A~Z,a~z,-,*,/,_)
Preset List :
--Preset List--
GoTo
Remove

PRESET SEQUENCE

Preset Name : Dwell time

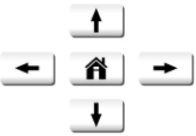


↑
↓
Delete

Preset List :
--Preset List--
Add
Dwell time : 10
Update
Second(s)[3~30]

Helpful Hints..

Input Preset Name:
Using the Pan, Tilt and Zoom (PTZ) controls, move the camera view to the required position and simply by selecting the preset's name.
Add: This camera position is then saved as a preset position in the camera.
GoTo: for test the preset the preset position.
Preset Sequence: A preset sequence is an automated series of camera movements from one preset position to another. A guard tour can be set up to display the video streams from different preset positions in a pre-determined order, and for configurable time periods.
Add: set up a new preset sequence, Modify to change, and Remove to remove an existing preset sequence.

38

LIVE VIDEO	
◆ VIDEO PROFILE	プリセットを登録するプロファイルを1または2から選択します。
◆ ePTZ Speed	プリセットポジションへの移動速度を1-5から設定します。 数値が大きいほど速度が速くなります。
	<p>プリセットポジションを設定します。画面内の赤枠を直接移動して設定することもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 矢印マーク: プリセットポジションを移動します。画面上の赤枠を選択して移動することもできます。 ホームマーク: プリセットポジションが初期の位置に戻ります。
PRESET	
◆ Preset	プリセットを選択します。
◆ Name	<p>プリセット名を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [Add]: プリセット名を登録します。 [Rename]: プリセット名を変更します。
◆ Preset List	<p>登録したプリセットを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [Go To]: 選択したプリセットポジションにカメラ位置を移動します。 [Remove]: プリセットを削除します。
Auto Pan	
◆ Speed	<p>オートパンを行うスピードを設定します。数値が大きいほどスピードが速くなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> [Test]: オートパンのテストを行います。 [Stop]: テストを中止します。
PRESET SEQUENCE	
◆ Preset List	<p>登録したプリセットから、プリセットシーケンスに追加するものを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [Add]: プリセットをプリセットシーケンスに登録します。
◆ Dwell time	<p>1つのプリセットポジションにとどまる時間を3-30秒の範囲で入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [Update]: 停留時間を更新します。
	シーケンスに登録したプリセットの順序を入れ替えます。
	プリセットシーケンスに登録したプリセットを削除します。

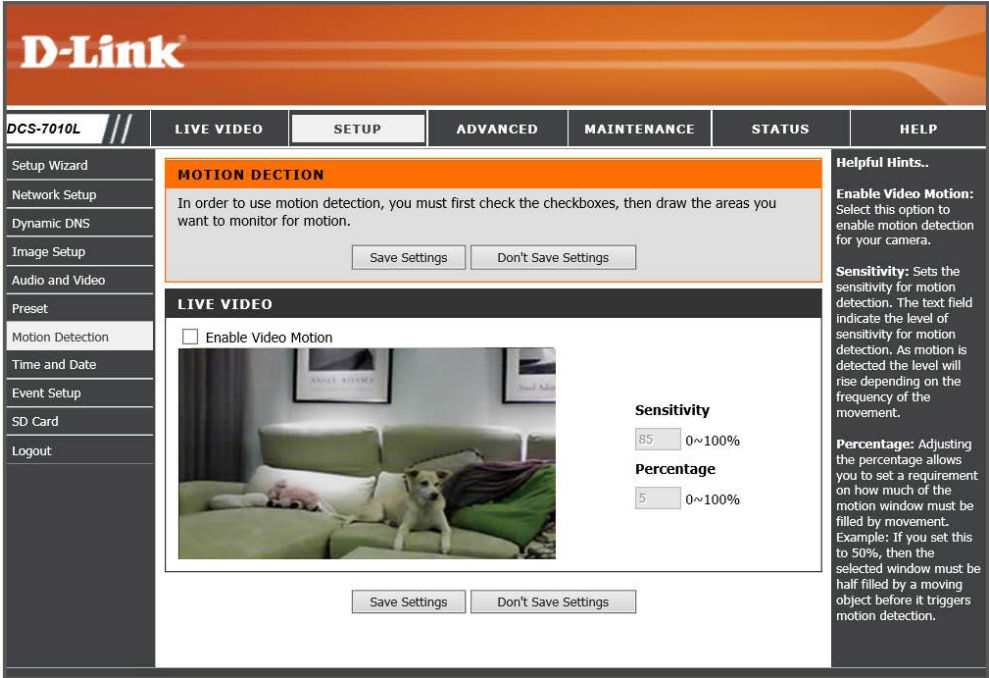
Motion Detection

[SETUP] > [Motion Detection]

動体検知とは、映像内の動きを検知する機能です。
検知した場合に録画を行うなどのイベントを設定することもできます。

Motion Detection画面では、動体検知の有効/無効を設定し、検知を行うエリアと感度を設定します。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。



LIVE VIDEO	
◆ Enable Video Motion	動体検知を有効にします。 有効にした場合は、下の画面で検知を行うエリアを選択します。
◆ Sensitivity	動体検知を行う感度を0-100%のあいだで設定します。 設定した数値が大きいほど感度がよくなり、動体が検出されやすくなります。
◆ Percentage	設定した検知エリアで動体の占める割合を設定します。 数値が小さいほど動体が検知されやすくなります。

メモ

- ・ 動体検知を有効にした場合は、画像内で動体検知を行うエリアを選択してください。
左クリックしながらマウスを移動させると、エリアを選択できます。
画像内でマウスを右クリックすると、[Select All][Clear All][Restore]の動作を選択できます。
- ・ 動体を検知した場合に録画を行うなどのイベントを設定することができます。
詳細および設定方法については『[Event Setup:p.42](#)』を参照してください。

Time and Date

[SETUP] > [Time and Date]

本製品の日時設定、およびサマータイムの設定を行います。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

TIME CONFIGURATION

- ◆ **Time Zone** お使いの地域に合わせてタイムゾーンを設定します。
- ◆ **Enable Daylight Saving** サマータイムを有効にします。
 - ・ [Auto Daylight Saving]: 自動でサマータイムを実行します。
 - ・ [Set date and time manually]: 以下の項目を入力し、手動でサマータイムを実行します。
 - [offset]: サマータイムの実施により調整する時間を選択します。
 - [Start Time]: サマータイムを開始する日時を選択します。
 - [End Time]: サマータイムを終了する日時を選択します。

AUTOMATIC TIME CONFIGURATION

- ◆ **Synchronize with NTP Server** NTPサーバと同期して時間設定を行います。
有効にした場合は同期するNTPサーバを設定してください。

SET DATE AND TIME MANUALLY

- ◆ **Set date and time manually** 手動で日時を設定します。
有効にした場合は、日時を選択してください。
- ◆ **Copy Your Computer's Time Settings** お使いのコンピュータに設定されている日時をコピーします。

Event Setup

[\[SETUP\] > \[Event Setup\]](#)

イベントの発生条件とイベントの内容を設定します。

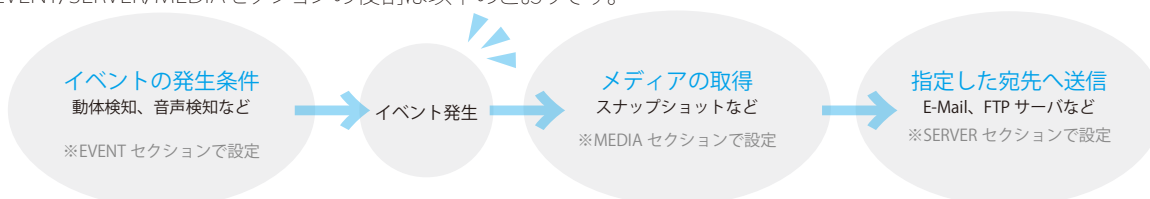
例:「動体検知が発生」(イベントの発生条件)した場合には、「FTPサーバへ画像を送信する」(イベントの内容)

以下の4つのセクションで設定を行います。「Add」をクリックすると各セクションの設定ウィンドウが表示されます。

- **SERVER(サーバ):**
イベントが発生した際に、取得した画像・ビデオクリップなどのメディアを送信する宛先を設定します。
- **MEDIA(メディア):**
イベントが発生した際に、どのメディアで記録を行うかを設定します。
- **EVENT(イベント):**
イベントの発生条件(動体検知、音声検知など)を設定します。
ここで設定した動作が発生すると、MEDIAで設定した形式の記録がSERVERで設定した宛先へ送信されます。
- **RECORDING(録画):**
スケジュールを設定して録画を実行します。

メモ

- 各セクションで追加できる最大設定数は以下の通りです。
サーバ:5/メディア:5/イベント:2/録画:1
- EVENT/SERVER/MEDIAセクションの役割は以下のとおりです。



SERVER

SERVERセクションの[Add]をクリックし、以下の画面で設定を行います。
異なるイベントに対して5つの異なるサーバを設定できます。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

SERVER

You can set at most 5 different servers here for different event.

[Test] [Save Settings] [Don't Save Settings]

SERVER TYPE

Server Name:

☒ **Email**

Sender email address

Recipient email address

Server address

User name

Password

Port

☐ This server requires a secure connection (StartTLS)

☐ **FTP**

Server address

Port

User name

Password

Remote folder name

☐ Passive mode

☐ **Network storage**

Network storage location

(for example: \\my_nas\disk\folder)

Workgroup

User name

Password

Primary WINS server

☐ **SD Card**

[Test] [Save Settings] [Don't Save Settings]

Helpful Hints..

"Server name" The unique name for server. There are four kinds of servers supported. They are email server, FTP server, HTTP server and network storage.

Email server:
"Sender email address" The email address of the sender.
"Recipient email address" The email address of the recipient.

FTP server:
"Remote folder name" Granted folder on the external FTP server. The string must conform to that of the external FTP server. Some FTP servers cannot accept preceding slash symbol before the path without virtual path mapping. Refer to the instructions for the external FTP server for details. The folder privilege must be open for upload.
"Passive Mode" Check it to enable passive mode in transmission.

Network storage: Only one network storage is supported.
"Network storage location" The path to upload the media.
"Workgroup" The workgroup for network storage.

SD card: Use the SD card for recording media.

SERVER TYPE

◆ Server Name	サーバ名を入力します。
◆ Email	E-mailサーバへメディアを送信する場合に選択し、E-Mailサーバアカウントの情報を入力します。
◆ FTP	FTPサーバへメディアを送信する場合に選択し、FTPサーバアカウントの情報を入力します。
◆ Network storage	ネットワーク上のストレージへメディアを送信する場合に選択し、必要項目を入力します。
◆ SD Card	SDカードへメディアを送信する場合に選択します。

メモ

[Test]をクリックするとテストを行うことができます。

MEDIA

MEDIAセクションの[Add]をクリックし、以下の画面で設定を行います。
異なるイベントに対して5つの異なるメディアを設定できます。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

DCS-7010L

LIVE VIDEO

SETUP

ADVANCED

MAINTENANCE

STATUS

HELP

Setup Wizard

Network Setup

Dynamic DNS

Image Setup

Audio and Video

Preset

Motion Detection

Time and Date

Event Setup

SD Card

Logout

MEDIA

You can set at most 5 different media here for different event.

Save Settings

Don't Save Settings

MEDIA TYPE

Media name:

☒ Snapshot

Source:

Send pre-event image(s) [0~3]

Send post-event image(s) [0~7]

File Name Prefix:

☐ Add date and time suffix to file name

☐ Video Clip

Source:

Pre-event recording: Second(s) [0~3]

Maximum duration: Second(s) [1~100]

Maximum file size: Kbytes [100~5000]

File Name Prefix:

☐ System log

Save Settings

Don't Save Settings

Helpful Hints..

"Media name" The unique name for media. There are three kinds of media. They are snapshot, video clip and system log.

Snapshot:
"Source" The source of profile, profile1 or profile2.
"Send Pre-event images" The number of pre-event images.
"Send Post-event images" The number of post-event images.
"File name prefix" The prefix name will be added on the file name of the snapshot images.
"Add date and time suffix to file name" Check it to add timing information as file name suffix.

Video clip:
"Source" The source of profile, profile1 or profile2.
"Pre-event recording" The interval of pre-event recording in seconds. There are two limitations for video clip file.
"Maximum duration" The maximal recording file duration in seconds.
"Maximum file size" The maximal file size would be generated.

MEDIA TYPE	
◆ Media name	メディア名を入力します。
◆ Snapshot	イベントが発生した際にスナップショットを取得します。 <ul style="list-style-type: none">[Source] プロフィールを選択します。[Send XX pre-event image(s) [0~3]][Send XX post-event image(s) [0~7]] イベント発生の前後に取得するスナップショット数を設定します。[File Name Prefix] 取得したスナップショットにつけるファイル名を設定します。[Add date and time suffix to file name] ファイル名に日時を追加します。
◆ Video Clip	イベントが発生した際にビデオクリップを取得します。 <ul style="list-style-type: none">[Source] プロフィールを選択します。[Pre-event recording: XX Second(s) [0~3]] イベント発生の前後に取得するビデオクリップの秒数を設定します。[Maximum duration: XX Second(s) [1~20]] ビデオクリップを取得する最大秒数を設定します。[Maximum file size: XX Kbytes [1024~20480]] 取得するビデオクリップの最大ファイルサイズを設定します。[File Name Prefix] 取得したビデオクリップにつけるファイル名を設定します。
◆ System Log	イベントが発生した際にシステムログを取得します。

EVENT

EVENTセクションの[Add]をクリックし、以下の画面で設定を行います。
最大1つのイベントを設定できます。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

D-Link	
DCS-7010L	<div>LIVE VIDEO</div> <div>SETUP</div> <div>ADVANCED</div> <div>MAINTENANCE</div> <div>STATUS</div> <div>HELP</div>
<div>Setup Wizard</div> <div>Network Setup</div> <div>Dynamic DNS</div> <div>Image Setup</div> <div>Audio and Video</div> <div>Preset</div> <div>Motion Detection</div> <div>Time and Date</div> <div>Event Setup</div> <div>SD Card</div> <div>Logout</div>	<div> EVENT You can set at most 2 events like motion detection or digital input trigger here and arrange the detection schedule at the same time. <div>Save Settings</div> <div>Don't Save Settings</div> </div> <div> EVENT Event name: <input type="text"/> <input type="checkbox"/> Enable this event Priority: normal ▼ Delay for 10 seconds before detecting next event [For motion detection and digital input] </div> <div> TRIGGER <input checked="" type="radio"/> Video motion detection <input type="radio"/> Periodic Trigger every 1 minutes <input type="radio"/> Digital input <input type="radio"/> System boot <input type="radio"/> Network lost </div> <div> EVENT SCHEDULE <input checked="" type="checkbox"/> Sun <input checked="" type="checkbox"/> Mon <input checked="" type="checkbox"/> Tue <input checked="" type="checkbox"/> Wed <input checked="" type="checkbox"/> Thu <input checked="" type="checkbox"/> Fri <input checked="" type="checkbox"/> Sat Time <input checked="" type="radio"/> Always <input type="radio"/> From 00 00 To 23 59 </div> <div> ACTION <input type="checkbox"/> Trigger D/O for 1 seconds <div>Save Settings</div> <div>Don't Save Settings</div> </div> <div> Helpful Hints.. Priority: The event with higher priority will be executed first. There are five kinds of trigger supported. Video motion detection: Select the windows which need to be monitored. Periodic: The event is triggered in specified intervals. The unit of trigger interval is minute. Digital input: The event is triggered when the DI status changed by external device. System boot: The event is triggered when the system boot up. Network lost: The event is triggered when the network service is not available or disconnection. Sun ~ Sat: Select the days of the week to perform the event. Time: show "Always" or input the time interval. The default action are triggering DO and storing media on SD card. If there are servers configured, the user can select them from "Server name", too. Trigger DO: Check it to trigger digital output for specific seconds when event is triggered. Note: Please Format SD card before use. The entire data in the SD card will be erased after formatting. </div>

EVENT	
◆ Event name	イベント名を入力します。
◆ Enable this event	イベントを有効にします。
◆ Priority	イベントの優先度を[Highest] (最優先) [High] (優先) [Normal] (普通) から選択します。
◆ Delay for XX seconds before detecting next event [For motion detection and digital input and Passive Infrared sensor]	次のイベントを検出する前の遅延時間 (秒) を設定します。 対象となるイベントは動体検知、デジタル入力、PIRセンサです。
TRIGGER	
◆ Video motion detection	動体検知が行われた際にイベントが発生します。
◆ Periodic	定期的にイベントが発生します。 • [Trigger every XX minutes]: 発生間隔を設定します。
◆ Digital input	デジタル入力が行われた際にイベントが発生します。
◆ System boot	システムが起動した際にイベントが発生します。
◆ Network lost	ネットワーク接続がロストした際にイベントが発生します。
EVENT SCHEDULE	
◆ Sun - Sat	イベントを実行する曜日を選択します。
◆ Time	イベントを実行する時間を設定します。 • [Always]: 常に録画を行います。 • [From][To]: イベントを実行する時間を選択します。
ACTION	
◆ Trigger D/O for XX seconds	イベントが発生した際に、指定した秒数のあいだデジタル出力を行います。

RECORDING

RECORDINGセクションの[Add]をクリックし、以下の画面で設定を行います。
録画を行うスケジュールや録画のデータサイズなどを設定できます。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

D-Link

DCS-7010L // LIVE VIDEO **SETUP** ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Setup Wizard
Network Setup
Dynamic DNS
Image Setup
Audio and Video
Preset
Motion Detection
Time and Date
Event Setup
SD Card
Logout

RECORDING

You can setup schedule recording to network storage with your specify week day and time period.

Save Settings Don't Save Settings

RECORDING

Recording entry name:

☐ Enable this recording

Priority:

Source:

RECORDING SCHEDULE

☒ Sun ☒ Mon ☒ Tue ☒ Wed ☒ Thu ☒ Fri ☒ Sat

Time

☒ Always

☐ From To

RECORDING SETTINGS

Destination:

Total cycling recording size: Mbytes [200~2000000]

☒ Size of each file for recording: Mbytes

☐ Time of each file for recording: seconds

File Name Prefix:

Save Settings Don't Save Settings

Helpful Hints..

Recording: Enable this option if you want to upload the recording to a shared folder on the network.

Recording schedule: Select the day(s) according to when you want the IP camera to make a video clip.

Always: This enables the IP camera to make video clips continuously.

From: The time range specified for the video clip.

Total cycling recording size: Please input the network path of your network storage, it will like "\\DNS\IPC\Record\". If the network storage need authentication, please enter your user name and password here.

Note: Please Format SD card before use. The entire data in the SD card will be erased after formatting.

RECORDING

- | | |
|-------------------------|---|
| ◆ Recording entry name | 録画名を入力します。 |
| ◆ Enable this recording | 録画を有効にします。 |
| ◆ Priority | 録画の優先度を[Highest] (最優先) [High] (優先) [Normal] (普通) から選択します。 |
| ◆ Source | 録画を行うプロファイルを選択します。 |

RECORDING SCHEDULE

- | | |
|-------------|--|
| ◆ Sun - Sat | 録画を実行する曜日を選択します。 |
| ◆ Time | 録画を実行する時間を設定します。
・ [Always]: 常に録画を行います。
・ [From][To]: 録画を実行する時間を選択します。 |

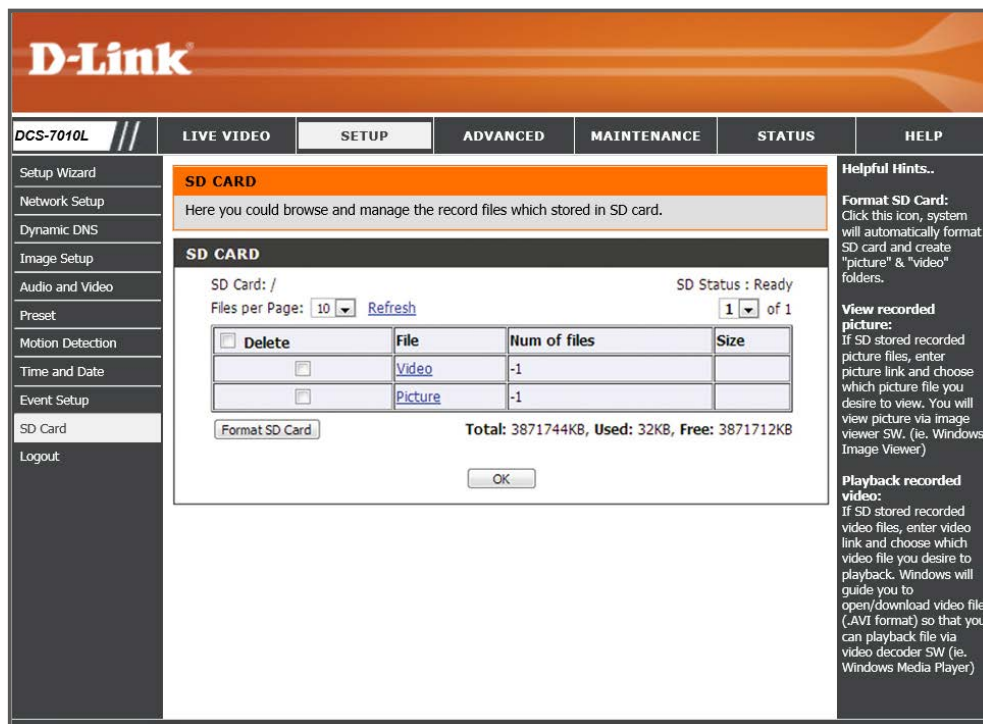
RECORDING SETTINGS

- | | |
|-----------------------------------|--|
| ◆ Destination | 録画したファイルの保存先を選択します。 |
| ◆ Total cycling recording size | メディア上で録画に使用できるストレージの最大量を入力してください。
ファイルは繰り返しストレージに書き込まれます。必要に応じて、古いファイルは上書きされます。 |
| ◆ Size of each file for recording | 各録画ファイルのデータサイズを設定します。 |
| ◆ Time of each file for recording | 各録画ファイルの時間 (秒) を設定します。 |
| ◆ File Name Prefix | 取得した録画データにつけるファイル名を設定します。 |

SD Card

[\[SETUP\] > \[SD Card\]](#)

SDカードの設定を行います。
録画した映像の閲覧、再生を行うことができます。



RECORDING

◆ Format SD Card	SDカードのフォーマットを行います。PictureおよびVideoフォルダが自動的に作成されます。
◆ Picture	リンクをクリックし、SDカードに保存した画像を閲覧します。
◆ Video	リンクをクリックし、SDカードに保存した映像を再生します。
◆ Refresh	SDカードからファイルおよびフォルダ情報をリロードします。

重要

SDカードを本体に挿入していない場合は、以下のように表示されます。



メモ

SDカードの挿入位置についてはクイックインストールガイドおよび『[本体各部名称:p.12](#)』参照してください。

Advanced (詳細設定)

デジタル入出力、ICR、アクセスリストなど、カメラの詳細設定を行います。

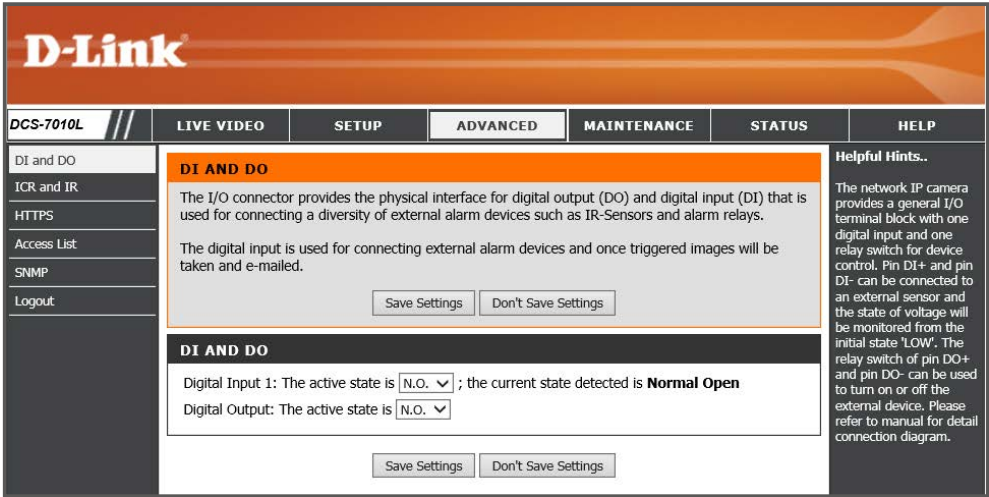
5

■ DI and DO	50
■ ICR and IR	51
■ HTTPS	52
■ Access List	53
■ SNMP	54

DI and DO

[ADVANCED] > [DI and DO]

DI/DOコネクタを使用し、アラームデバイスなどを接続することができます。
本項目では、デジタル入力 (Digital Input) およびデジタル出力 (Digital Output) の設定を行います。
設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。



DI and DO	
◆ Digital Input	デジタル入力の状態を選択します。 <ul style="list-style-type: none">• [N.O.]: N.O.は、Normally Openの略です。通常時は回路が開かれています。• [N.C.]: N.C.は、Normally Closedの略です。通常時は回路が閉じられています。
◆ Digital Output	デジタル出力の状態を選択します。 <ul style="list-style-type: none">• [N.O.]: N.O.は、Normally Openの略です。通常時は回路が開かれています。• [N.C.]: N.C.は、Normally Closedの略です。通常時は回路が閉じられています。

重要

DI/DOコネクタの各ピンの機能については、『DI/DO コネクタについて:p.65 』を参照してください。

ICR and IR

[ADVANCED] > [ICR and IR]

本項目ではICRとIRの設定を行います。

ICR(IR Cut Removable)フィルタは、赤外線をカットする機能です。夜間モードではフィルタが有効、昼間モードではフィルタが無効となります。撮影環境に応じてフィルタを有効／無効にすることにより、実物に近い色彩の画像を取得することができます。IR LIGHT欄では、IR(赤外線)LEDの設定を行います。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

D-Link

DCS-7010L // LIVE VIDEO SETUP **ADVANCED** MAINTENANCE STATUS HELP

DI and DO
ICR and IR
HTTPS
Access List
SNMP
Logout

ICR AND IR

An IR(Infrared) Cut-Removable(ICR) filter can be disengaged from the image path for increased sensitivity in low light environments. The ICR filter will automatically engage depending on the ambient light, allowing the camera to be effective in day/night environments.

1. Select the Day/Night from the radio button. The available options are Automatic, Schedule mode, Day mode and Night mode.
2. The default value is Automatic.

Light Sensor Sensitivity
Light sensor sensitivity has Low, Medium, and High three different levels. You may get current camera light illumination by clicking Refresh button to set proper level of Light sensor sensitivity. For example, when level sets at High less than 30lux, camera will switch Day & Night mode to Night mode.

IR Light
The built-in IR illuminators will be activated automatically or manually so as to supplement the low light situation without additional equipment.

Save Settings Don't Save Settings

ICR

Removable IR-Cut filter trigger condition:

☒ Automatic Sensitivity Medium: <20lux over 30 lux Refresh

☐ Day mode

☐ Night mode

☐ Schedule mode

Day mode(24hr)
From 07 00 To 18 00

IR LIGHT

IR Light Control Medium

☐ Off

☐ On

☒ Sync. With ICR

☐ Schedule

IR Light Control On(24hr)
From 07 00 To 18 00

Save Settings Don't Save Settings

Helpful Hints..

ICR and IR:

Automatic: The day/Night mode is set automatically. It is normally set in the Day mode and changes to the Night mode in a dark place.

Day mode: The Day mode means disable the IR Cut Filter.

Night mode: The Night mode means enable the IR Cut Filter.

Schedule mode: Set the Day/Night mode using the schedule. Fill in the time so the Day/Night mode is normally set to Day mode and it enters the Day mode at the start time and returns to the Night mode at the end time.

IR Light Control:
In poor light conditions, open IR Light Control to automatically turn on the light to enable you to take clear picture. The IR Light Control has 4 options: Off, On, Sync. with ICR, and Schedule. Off: This option disable the IR Light Control. On: This option automatically opens the IR Light Control to enable a camera to take clear images in poor light conditions. Sync. with ICR: In this option, the IR Light Control will open automatically and follow the ICR setting. Schedule: In this option, you have to customize the setting to set the time period you want.

ICR

◆ Automatic	ICRフィルタの動作モードを自動的に昼間モードから夜間モードに切り替えます。 ・ [Sensitivity]: 動作モードを夜間モードに切り替える光量の閾値(単位:lux)を設定します。
◆ Day mode	昼間モードを選択します。昼間モードではICRフィルタが有効になります。
◆ Night mode	夜間モードを選択します。夜間モードではICRフィルタが無効になります。
◆ Schedule mode	スケジュールモードを選択します。設定したスケジュールに従い、昼間モードに切り替わります。

IR LIGHT

◆ IR Light Control	赤外線LEDの照度を選択します。 [Highest]を選択すると、最も明るく赤外線LEDが点灯します。 ・ 選択肢: [Highest][High] [Medium][Low][Lowest]
◆ Off	赤外線LEDを常にオフにします。
◆ On	赤外線LEDを常にオンにします。
◆ Sync. With ICR	ICRの設定と同期して、赤外線LEDのオン/オフを行います。
◆ Schedule	設定したスケジュールに従って赤外線LEDのオン/オフを行います。

HTTPS

[SETUP] > [HTTPS]

HTTPSの設定を行います。
HTTPSを使用すると、SSL/TLSによる暗号化でHTTP通信を安全に行うことができます。
有効にするには、証明書の作成とインストールを行う必要があります。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

DCS-7010L

LIVE VIDEO

SETUP

ADVANCED

MAINTENANCE

STATUS

HELP

DI and DO

ICR and IR

HTTPS

Access List

SNMP

Logout

HTTPS

To enable HTTPS, you have to create and install certificate first.

Save Settings

Don't Save Settings

HTTPS

☒ Enable HTTPS secure connection

Create certificate method

☒ Create self-signed certificate automatically

☐ Create self-signed certificate manually

☐ Create certificate request and install

Create certificate:

Create

 Private key existed

CERTIFICATE INFORMATION

StatusActive

CountryTW

State or provinceTaiwan

LocalityTaipei

OrganizationD-Link Taiwan

Organization UnitR&D Dept.

Common Namewww.dlink.com.tw

CSR Property

Certificate Property

Remove

Save Settings

Don't Save Settings

Helpful Hints..

Enable HTTPS secure connection: allows you to enable HTTPS service

Note:
1. The certificate can't be removed while the HTTPS is still enable. To remove the certificate you have to uncheck the "Enable HTTPS secure connection" first.

HTTPS	
◆ Enable HTTPS secure connection	HTTPSセキュア接続を有効にします。
◆ Create certificate method	証明書の作成方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none">• [Create self-signed certificate automatically]: 自己署名証明書を自動で作成します。• [Create self-signed certificate manually] 自己署名証明書を手動で作成します。• [Create certificate request and install] 証明書のリクエストとインストールを行います。
◆ Create certificate	[Create]をクリックし、証明書を作成します。
CERTIFICATE INFORMATION	
証明書の情報が表示されます。	
◆ CSR Property	CSRのプロパティが別ウィンドウで表示されます。
◆ Certificate Property	証明書のプロパティが別ウィンドウで表示されます。
◆ Remove	証明書を削除します。



HTTPSが有効になっている場合は、証明書を削除できません。
証明書を削除する場合はHTTPSを無効にしてください。

Access List

[\[ADVANCED\]](#) > [\[Access List\]](#)

本製品へのアクセスを許可／拒否するIPアドレスを設定します。

ALLOW LIST

- ◆ **Start IP address** 接続を許可するIPアドレス範囲の開始IPアドレスを入力します。
IPアドレス範囲の入力後、[Add]をクリックしてリストに追加します。
- ◆ **End IP Address** 接続を許可するIPアドレス範囲の終了IPアドレスを入力します。
IPアドレス範囲の入力後、[Add]をクリックしてリストに追加します。
- ◆ **Delete allow list** 許可リストを削除します。
ドロップダウンからリストを選択し、[Delete]をクリックします。

DENY LIST

- ◆ **Start IP address** 接続を拒否するIPアドレス範囲の開始IPアドレスを入力します。
IPアドレス範囲の入力後、[Add]をクリックしてリストに追加します。
- ◆ **End IP Address** 接続を拒否するIPアドレス範囲の終了IPアドレスを入力します。
IPアドレス範囲の入力後、[Add]をクリックしてリストに追加します。
- ◆ **Delete deny list** 拒否リストを削除します。
ドロップダウンからリストを選択し、[Delete]をクリックします。

メモ

許可リストと拒否リストの範囲が重複した場合は、拒否リストの設定内容が優先されます。

例)

許可リスト: 1.1.1.0 - 192.255.255.255、拒否リスト: 1.1.1.0 - 170.255.25の場合

→ 171.0.0.0 - 192.255.255.255のIPアドレスを持つユーザのみがカメラにアクセスできます。

SNMP

[ADVANCED] > [SNMP]

SNMPの設定を行います。
SNMP(Simple Network Management Protocol)とは、機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

DCS-7010L

LIVE VIDEO

SETUP

ADVANCED

MAINTENANCE

STATUS

HELP

DI and DO

ICR and IR

HTTPS

Access List

SNMP

Logout

SNMP

The Simple Network Management Protocol is an application layer protocol that facilitates the exchange of management information between network devices. It helps network administrators to remotely manage network devices and find, solve network problems with ease.

Save Settings

Don't Save Settings

SNMP CONFIGURATION

☐ Enable SNMPv1, SNMPv2c

Read/Write communityprivate

Read only communitypublic

☐ Enable SNMPv3

Read/Write Security nameprivate

Authentication typeSHA

Authentication password

Encryption password

Read only security namepublic

Authentication typeSHA

Authentication password

Encryption password

Save Settings

Don't Save Settings

Helpful Hints..

Enable SNMPv1, SNMPv2c: Select this option and enter the names of Read/Write community and Read Only community according to your NMS setting.

SNMP CONFIGURATION

◆ Enable SNMPv1, SNMPv2c	SNMPv1、SNMPv2cを有効にします。 有効にした場合は以下の項目を入力します。 <ul style="list-style-type: none">• [Read/Write community]: Read/Writeコミュニティの名称を入力します。• [Read Only Community]: Read Onlyコミュニティの名称を入力します。
◆ Enable SNMPv3	SNMPv3を有効にします。 有効にした場合は以下の項目を入力します。 <ul style="list-style-type: none">• [Read/Write Security name]: Read/Writeセキュリティの名称を入力します。• [Authentication type]: Read/Writeセキュリティの認証タイプを[SHA][MD5]から選択します。• [Authentication password]: Read/Writeセキュリティの認証パスワードを入力します。• [Encryption password]: Read/Writeセキュリティの暗号化パスワードを入力します。• [Read only Security name]: Read only セキュリティの名称を入力します。• [Authentication type]: Read only セキュリティの認証タイプを[SHA][MD5]から選択します。• [Authentication password]: Read only セキュリティの認証パスワードを入力します。• [Encryption password]: Read only セキュリティの暗号化パスワードを入力します。

Maintenance(メンテナンス)

6

管理者情報の設定やファームウェアアップグレード、工場出荷時設定へのリセットなど、本製品のメンテナンスを行います。

■ Admin.....	56
■ System	58
■ Firmware Upgrade.....	59

Admin

[\[MAINTENANCE\]](#) > [\[Admin\]](#)

本製品にアクセスするユーザアカウントの設定や、デバイス名の設定などを行います。

D-Link	
DCS-7010L	LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP
Admin System Firmware Upgrade Logout	<div> ADMIN Here you can change the administrator's password for your IP camera as well as add and/or delete user account(s). You can configure the information, such as IP camera's name and time via this page. You can also enable the OSD (On-Screen Display) feature in order to display the IP camera name and time stamp for your video recordings. </div> <div> ADMIN PASSWORD SETTING New Password <input type="text"/> 63 characters maximum Retype Password <input type="text"/> <input type="button" value="Save"/> </div> <div> ADD USER ACCOUNT User Name <input type="text"/> 20 users maximum New Password <input type="text"/> 63 characters maximum Retype Password <input type="text"/> <input type="button" value="Add"/> </div> <div> USER LIST User Name <input type="text"/> -- User list -- <input type="button" value="Delete"/> </div> <div> DEVICE SETTING IP camera Name <input type="text"/> DCS-7010L 63 characters maximum <input checked="" type="checkbox"/> Enable OSD Label <input type="text"/> DCS-7010L 30 characters maximum Show Time <input checked="" type="checkbox"/> <input type="button" value="Save"/> </div> <div> LED LED <input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off <input type="button" value="Save"/> </div>
	Helpful Hints.. Enabling OSD, the IP camera name and time will be displayed on the video screen for the user. For security purposes, it is recommended that you change the password for your administrator account. Be sure to write down the new password to avoid having to reset the IP camera in the event that it is forgotten. LED: In the near panel of your camera there is a LED beside the network adapter. ON: The LED will flash a light to indicate if the network is working or not. OFF: No light will show, forth option is turn off.

ADMIN PASSWORD SETTING

Web GUI にログインする管理者パスワードを設定します。
以下の項目を入力後、[Save]をクリックして設定を保存します。

◆ New Password	パスワードを入力します。
◆ Retype Password	確認のため再度パスワードを入力します。

ADD USER ACCOUNT

Web GUI にログインするユーザアカウントを追加します。以下の項目を入力後、[Add]をクリックしてアカウントを追加します。

◆ User Name	ユーザ名を入力します。
◆ New Password	パスワードを入力します。
◆ Retype Password	確認のため再度パスワードを入力します。

USER LIST

Web GUI にログインするユーザアカウントを削除します。ユーザ名を選択後、[Delete]をクリックしてアカウントを削除します。

◆ User Name	削除するユーザを選択します。
--------------------	----------------

DEVICE SETTING

IPカメラのデバイス名およびOSD(On-Screen Display)の設定を行います。以下の項目を入力後、[Save]をクリックして設定を保存します。

◆ IP camera Name	IPカメラ名を入力します。
◆ Enable OSD	OSD機能を有効にします。有効にすると、映像にラベル名や時刻を表示することができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Label]: ラベル名を入力します。 • [Show time]: 時刻の表示を有効にします。

LED

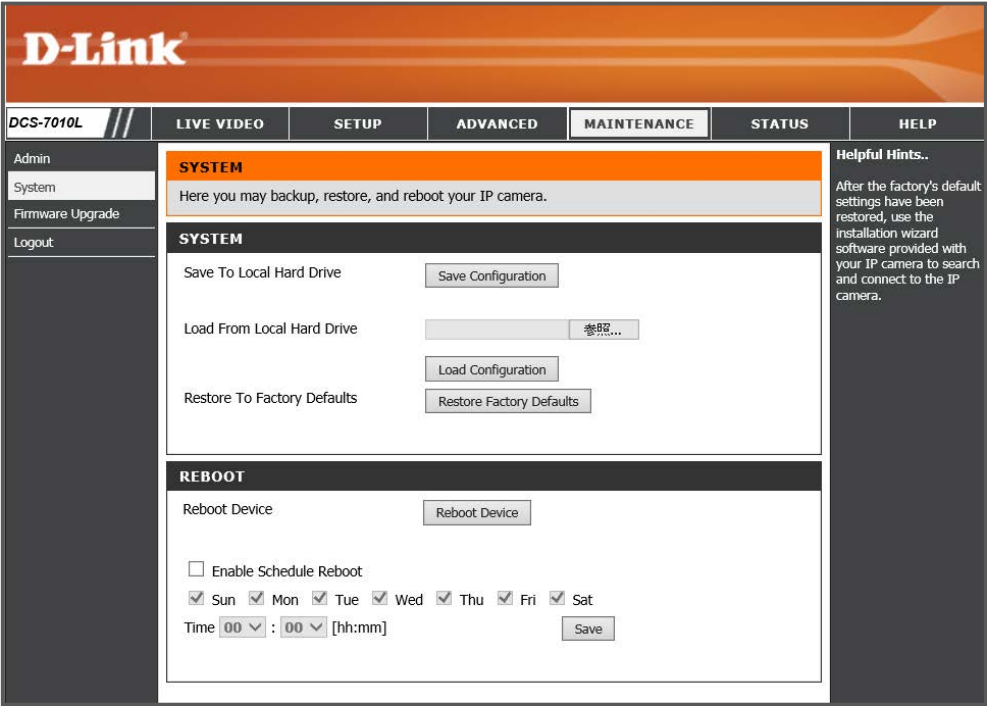
IPカメラのLEDのON/OFFを切り替えます。選択後、[Save]をクリックして設定を保存します。

◆ ON / OFF	[On]または[Off]を選択します。
-------------------	---------------------

System

[MAINTENANCE] > [System]

設定のバックアップ、リストア、初期設定へのリセットを行います。
また、本製品をリブートすることもできます。リブートは設定したスケジュールにしたがって行うことも可能です。



SYSTEM	
◆ Save To Local Hard Drive	[Save Configuration]をクリックし、ローカルハードドライブへ設定を保存します。
◆ Load From Local Hard Drive	ローカルハードドライブから設定を読み込みます。 ①[参照]をクリックして設定ファイルを選択します。 ②[Load Configuration]をクリックして設定を読み込みます。
◆ Restore To Factory Defaults	[Restore Factory Defaults]をクリックし、設定を工場出荷時の状態にリセットします。
REBOOT	
◆ Reboot Device	[Reboot Device]をクリックし、本製品をリブートします。
◆ Enable Schedule Reboot	設定したスケジュールにしたがって本製品のリブートを行います。 ①[Sun]-[Sat]からリブートを行う曜日を選択します。 ②[Time]でリブートを行う時刻を設定します。 ③[Save] をクリックして設定を保存します。

Firmware Upgrade

[MAINTENANCE] > [Firmware Upgrade]

ファームウェアのアップグレードを行います。

FIRMWARE INFORMATION

現在のファームウェアバージョンが表示されます。

FIRMWARE UPGRADE

ファームウェアアップグレードを行います。

◆ File Path:	①[参照]をクリックしてファームウェアを選択します。 ②[Upload]をクリックしてファームウェアをアップロードします。 ③アップロードの進捗状況を示す画面が表示されます。完了までそのままお待ちください。
---------------------	---

重要

ファームウェアアップグレードが完了するまでそのままお待ちください。

Status(ステータス)

7

カメラのデバイス情報とログを表示します。

- Device Info 61
- Log..... 62

Device Info

[\[STATUS\]](#) > [\[Device Info\]](#)

IPカメラ名やIPアドレス、ファームウェアバージョンなど、デバイスの情報が表示されます。

The screenshot shows the D-Link DCS-7010L web interface. The top navigation bar includes links for LIVE VIDEO, SETUP, ADVANCED, MAINTENANCE, STATUS (selected), and HELP. The left sidebar contains links for Device Info, Log, and Logout. The main content area is titled 'DEVICE INFO' and contains a message: 'All of your network connection details are displayed on this page. The firmware version is also displayed here.' Below this is an 'INFORMATION' table listing various device details.

INFORMATION	
IP camera Name	DCS-7010L
Time & Date	Tue Jan 20 17:57:52 2015
Firmware Version	1.03.07
MAC Address	B0:C5:54:00:39:3F
IP Address	172.16.1.59
IP Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	172.16.1.1
Primary DNS	172.16.1.2
Secondary DNS	172.16.1.3
PPPoE	Disable
DDNS	Disable
Agent Version	2.0.17-b41

Helpful Hints..
This page displays all the information about the IP camera and network settings.

Log

[STATUS] > [Log]

IPカメラの動作のログを確認できます。

DCS-7010L

LIVE VIDEO

SETUP

ADVANCED

MAINTENANCE

STATUS

HELP

Device Info

Log

Logout

SYSTEM LOG

The system log records IP camera events that have occurred.

CURRENT LOG

1. 2015-01-20 17:51:00 admin FROM 172.16.1.66 LOGIN OK

2. 2015-01-20 17:40:34 admin FROM 172.16.1.66 LOGIN OK

3. 2015-01-20 17:04:36 admin FROM 172.16.1.66 LOGIN OK

4. 2015-01-20 16:49:41 admin FROM 172.16.1.66 LOGIN OK

5. 2015-01-20 16:39:18 admin FROM 172.16.1.66 LOGIN OK

6. 2015-01-20 14:48:43 admin FROM 172.16.1.66 SET AWB Auto

7. 2015-01-20 14:48:41 admin FROM 172.16.1.66 SET AWB Push Hold

8. 2015-01-20 14:48:34 admin FROM 172.16.1.66 SET AWB Fluorescent

9. 2015-01-20 14:48:30 admin FROM 172.16.1.66 SET AWB Auto

10. 2015-01-20 14:48:28 admin FROM 172.16.1.66 SET AWB Push Hold

11. 2015-01-20 14:48:25 admin FROM 172.16.1.66 SET AWB Push Hold

12. 2015-01-20 14:47:57 admin FROM 172.16.1.66 SET EXPOSURE TIME Moving

13. 2015-01-20 13:23:27 admin FROM 172.16.1.58 LOGIN OK

14. 2015-01-20 13:23:25 admin FROM 172.16.1.61 LOGIN OK

15. 2015-01-20 13:22:51 IP CAMERA ACQUIRE DHCP IP 172.16.1.59

16. 2015-01-20 13:22:49 admin FROM 172.16.1.66 LOGIN OK

17. 2015-01-20 13:22:36 SYSTEM SET IR LIGHT OFF

18. 2015-01-20 13:22:35 SYSTEM BOOTING

19. 2015-01-20 13:22:09 admin FROM 172.16.1.66 Restore Factory Default

20. 2015-01-20 13:21:48 MOTION STOPPED

First Page

Previous 20

Next 20

Clear

Download

Helpful Hints..

You can save the log to your local hard IP camera by clicking the Download button, and you can clear the log by clicking on the Clear button.

CURRENT LOG	
◆ First Page	最新のログを20件表示します。
◆ Previous 20	前のログを20件表示します。
◆ Next 20	次のログを20件表示します。
◆ Clear	ログを消去します。
◆ Download	ログをtxt形式でダウンロードします。

付録

8

工場出荷時状態へのリセットとよくあるご質問について記載しています。

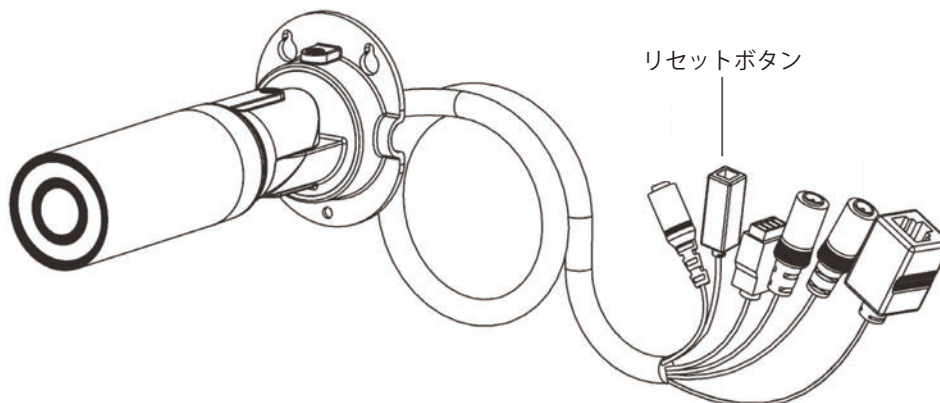
■ 工場出荷時設定に戻す	64
リセットボタンを使用する場合	64
Web GUIからリセットする場合	64
■ DI/DO コネクタについて	65
各ピンの機能	65
配線図	65
■ FAQ	66
■ 機能設定例	67
対象機器について	67
SDカードへの動体検知録画設定	67
構成例	67
設定例	68
設定後の動作	68
動体検知機能を有効にする	69
SDカードを設定する	69
SDカードへの録画データ設定をする	70
イベントの設定 (SDカードへの録画) をする	71
SDカードの録画データ確認	73

工場出荷時設定に戻す

本製品の設定を工場出荷時状態へリセットする方法について説明します。

■ リセットボタンを使用する場合

本製品のリセットボタンを押してください。



■ Web GUIからリセットする場合

以下の画面で[Restore Factory Defaults]をクリックします。

[\[MAINTENANCE\] > \[System\]](#)

D-Link

DCS-7010L // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED **MAINTENANCE** STATUS HELP

Admin
System
Firmware Upgrade
Logout

SYSTEM
Here you may backup, restore, and reboot your IP camera.

SYSTEM

Save To Local Hard Drive

Load From Local Hard Drive

Restore To Factory Defaults

REBOOT

Reboot Device

☐ Enable Schedule Reboot

☒ Sun ☒ Mon ☒ Tue ☒ Wed ☒ Thu ☒ Fri ☒ Sat

Time 00 : 00 [hh:mm]

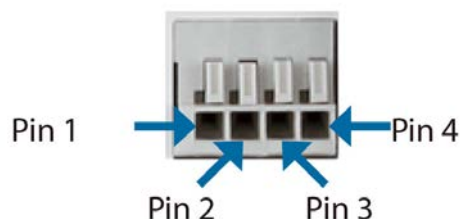
Helpful Hints..
After the factory's default settings have been restored, use the installation wizard software provided with your IP camera to search and connect to the IP camera.

DI/DO コネクタについて

本製品のDI/DOコネクタの詳細について説明します。

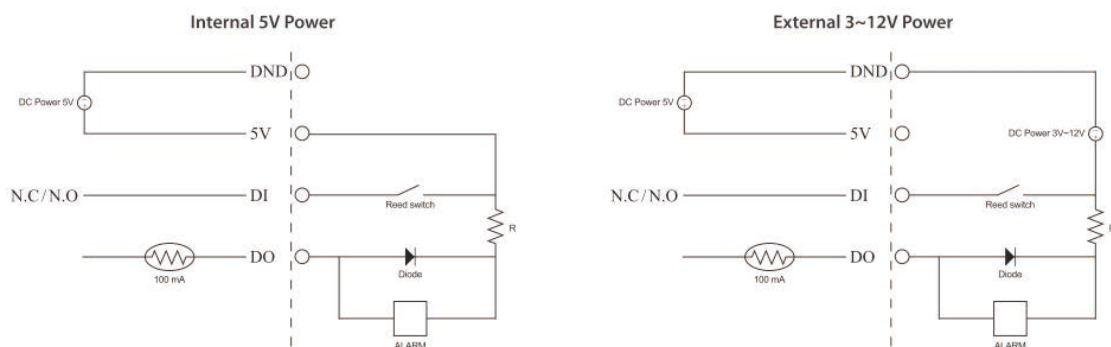
■各ピンの機能

本製品のDI/DOコネクタの詳細について説明します。



Pin	機能	詳細
1	DO (デジタル出力)	デジタル出力端子 オープンドレインNFETトランジスタを使用し、GNDに接続されています。外部リレーとともに使用する場合は、過度電流を避けるためにダイオードと負荷を並列に接続する必要があります。最大負荷は100mAです。
2	DI (デジタル入力)	デジタル入力端子 GNDと接続します。N.O.またはN.C.の設定により動作します。
3	DC5V OUTPUT	DC電源出力 <ul style="list-style-type: none"> DC5V 電源出力電流: 最大100mA
4	GND	GND

■配線図



FAQ

Q 本製品の設定を行うコンピュータからWeb ベースの設定メニューにアクセスできません。

- A** ①Webブラウザが本製品の対応しているバージョンであるか確認してください。
②LED が点灯していることを確認してください。
LED が点灯していない場合は、UTP ケーブルが正しくポートに接続されているか確認してください。
③設定用PC のIP アドレスが本製品と同じアドレス範囲およびサブネット内であるか確認してください。
④コンピュータ上のすべてのインターネットセキュリティソフトウェアの動作を無効にしてください。
Zone Alarm、Black Ice、Sygate、Norton Personal ファイアウォール、およびWindows Personal ファイアウォールなどのソフトウェアファイアウォールは設定ページへのアクセスを妨害する可能性があります。
⑤上記の点を確認してもアクセスできない場合は、一度本体の電源を抜き、再接続してみてください。

Q パスワードを忘れた場合はどうすればよいでしょうか。

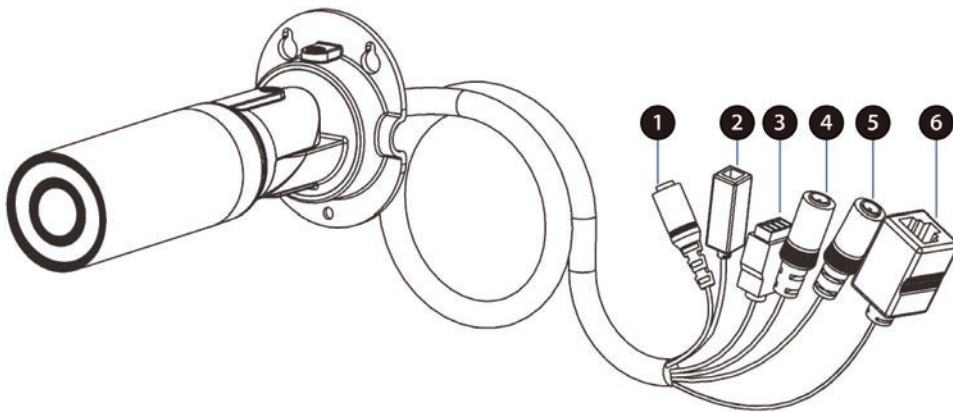
- A** 設定のリセットを行ってください。
詳細は『工場出荷時設定に戻す : p.64 』を参照してください。

Q 電源LEDが点灯しません。

- A** 電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
また、Web GUIの[MAINTENANCE]>[Admin]のLEDセクションで、LED表示をOffに設定した場合は、電源が入っていてもLEDは点灯しません。

Q マイクとスピーカーを本製品に接続するにはどうすればよいですか？

- A** 緑のコネクタ（④オーディオ出力）にスピーカーを接続します。
赤のコネクタ（⑤オーディオ入力）にマイクを接続します。



機能設定例

本項では、一般によく使う機能についての設定例を記載します。実際に設定を行う際の参考にしてください。

- SD カードへの動体検知録画

■対象機器について

本コンフィグレーションサンプルは以下の製品に対して有効な設定となります。

- DCS-6004L
- DCS-5222L
- DCS-7010L

注意 当項目において機器イラストや画像は機種に依らず、共通化、または個別のものを掲載しています。そのため、製品によっては表示項目や種別が異なる場合などがあることを予めご了承ください。実際の設定については、ご使用の状況に置き換えてご対応ください。

■SDカードへの動体検知録画設定

概要

SD カードへの動体検知録画の構成例、設定例、Web-UI の操作などについて紹介します。

設定手順

● 構成例



図 8-1 SD カードへの動体検知構成例

● 設定例

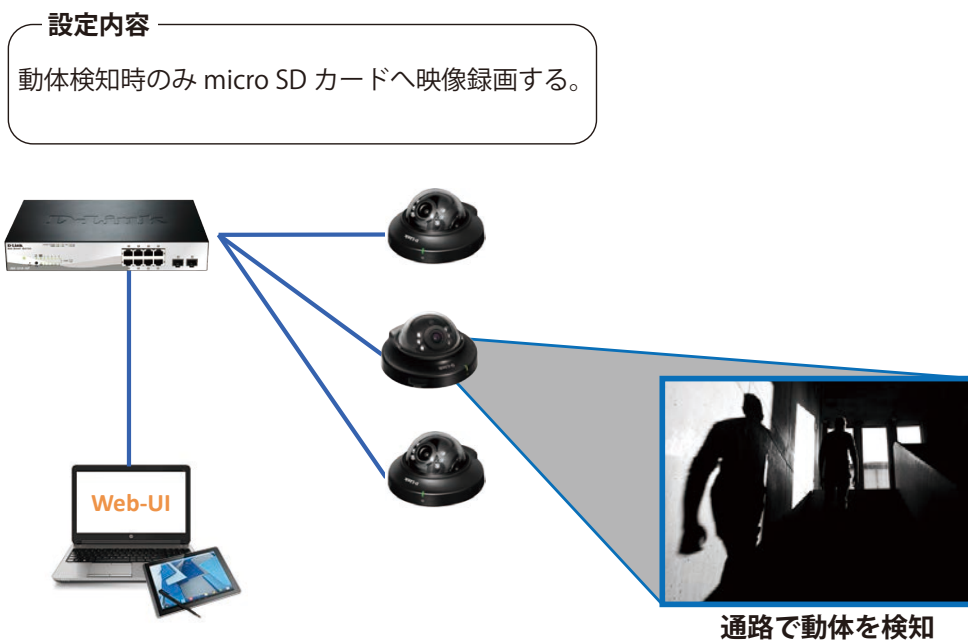


図 8-2 SD カードへの動体検知設定内容

● 設定後の動作



図 8-3 SD カードへの動体検知設定後の動作

● 動体検知機能を有効にする



図 8-4 動体検知機能の有効化

1. セットアップ>動体検知 で「動体検知」を表示させます。
2. 「ライブビデオ」の項目で「動体検知を有効化」にチェック。
3. 下部の画面で動体検知範囲を指定します（青色に表示）。
4. 「感度」で感度レベルを指定します。
5. 「設定を保存」をクリックし設定内容を保存します。

● SDカードを設定する

動体検知時の録画保存先を SD カードに設定します。

1. セットアップ>イベントセットアップで「イベントセットアップ」を表示させます。
2. 「サーバ」の項目で「追加」をクリックします。「サーバ」設定の画面が表示されます。

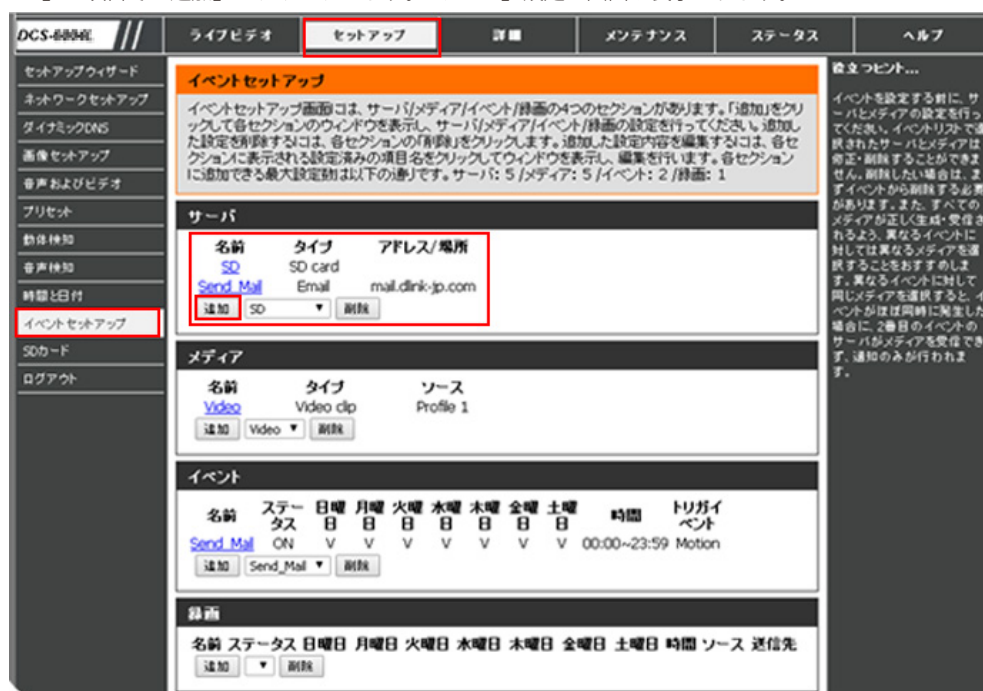


図 8-5 SD カード設定①

- 3. 「サーバタイプ」の項目で「サーバ名」を指定します。
- 4. 「サーバタイプ」をSDカードに指定します。
- 5. 「設定を保存」をクリックして設定を保存します。

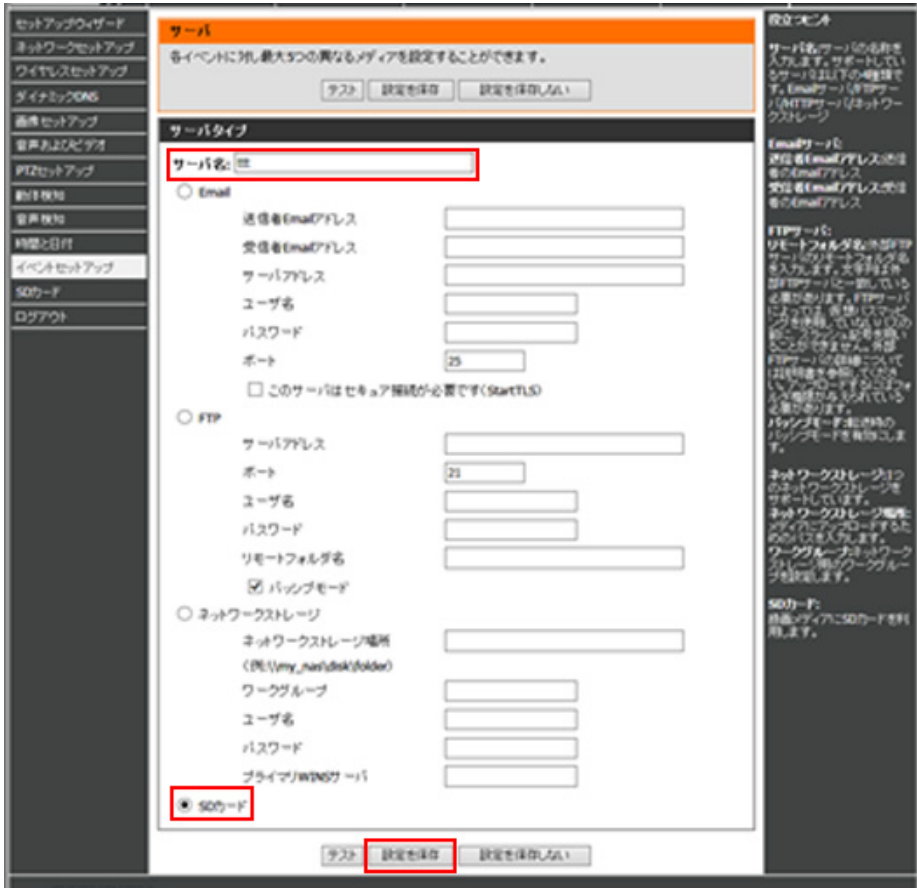


図 8-6 SD カード設定②

●SDカードへの録画データ設定をする
動体検知時のSDカード録画データの内容を設定します。

- 1. セットアップ>イベントセットアップで「イベントセットアップ」を表示させます。
- 2. 「メディア」の項目で「追加」をクリックします。「メディア」設定の画面が表示されます。



図 8-7 SD カードへの録画データ設定

- ここではSDへ保存する録画の内容を設定します。録画用のため、大きめのサイズの設定を推奨します。
- 「メディアタイプ」「メディア名」の項目でメディアの名称を入力します。
- 「ビデオクリップ」の項目で、「イベント前録画」「最大録画時間」「最大ファイルサイズ」「ファイル名プレフィックス」を指定します。
- 「設定を保存」をクリックして設定を保存します。

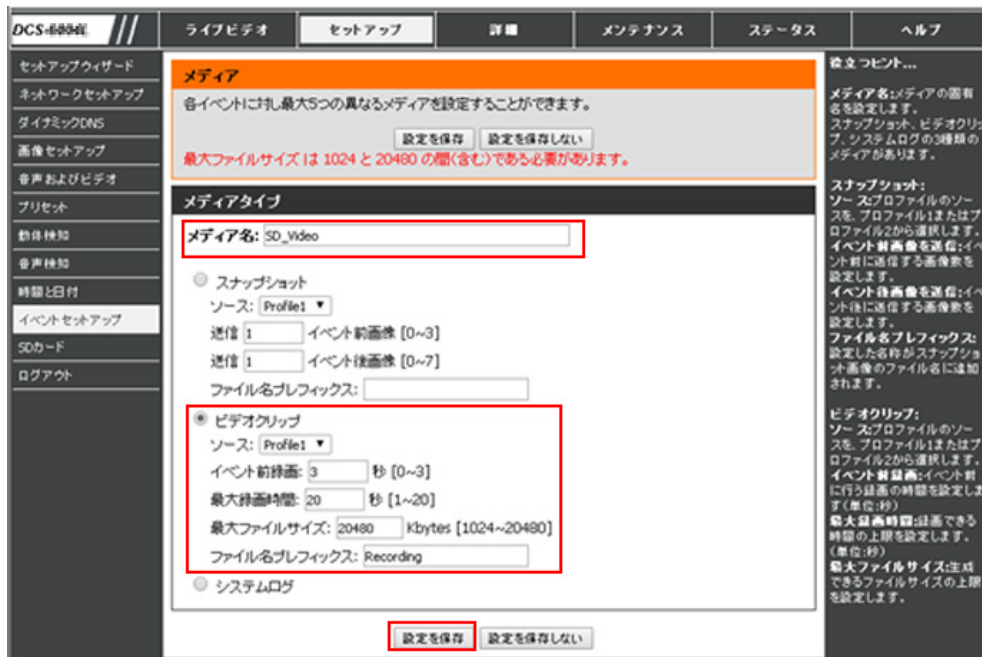


図 8-8 メディア設定

● イベントの設定 (SDカードへの録画) をする

SD カード録画のトリガーとなる「動体検知イベント」を設定します。

- セットアップ>イベントセットアップで「イベントセットアップ」を表示させます。
- 「イベント」の項目で「追加」をクリックします。イベント設定の画面が表示されます。

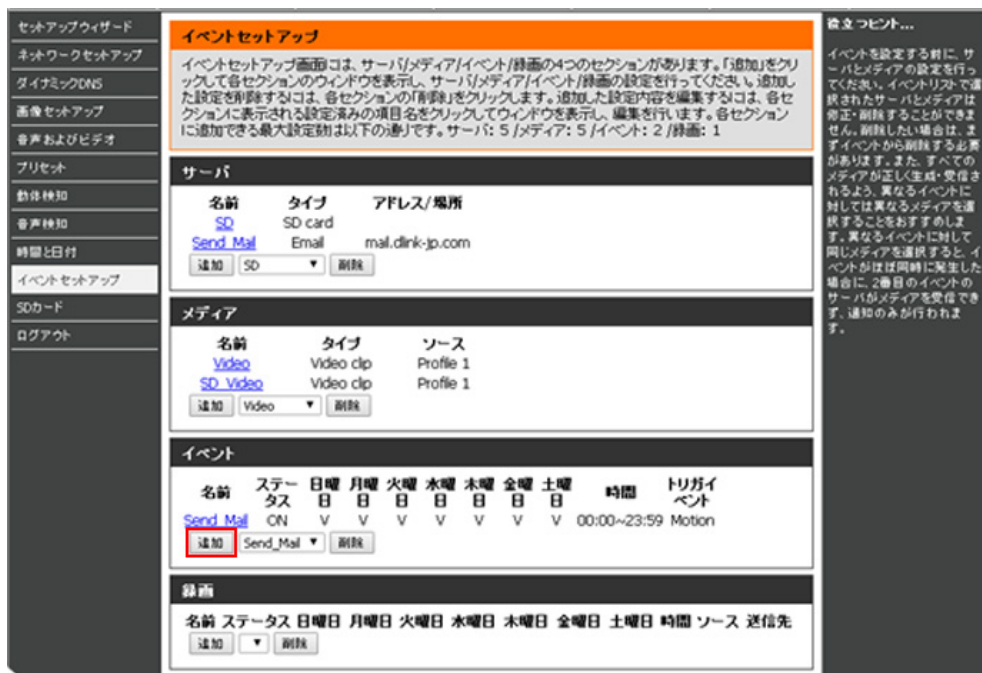


図 8-9 動体検知イベント設定①

3. 「イベント」の項目で「イベント名」を入力、「このイベントを有効化」にチェックを入れます。
4. 「トリガ」の項目で「ビデオ動体検知」(初期値)を選択し、「イベントスケジュール」では「常時」(初期値)を指定します。
5. 「アクション」の項目で「SD」を選択し、「SD用の保存メディア」を指定します。
6. 「設定を保存」をクリックして設定を保存します。

イベント

イベント名: Recording

☒ このイベントを有効化

優先度: normal

遅延: 10 (秒) 次のイベント(動体検知)を検知する前の時間

トリガ

☒ ビデオ動体検知

☐ 定期的

発生間隔: 1 分

☐ システム起動

☐ 音声検知

イベントスケジュール

☒ 日曜日 ☒ 月曜日 ☒ 火曜日 ☒ 水曜日 ☒ 木曜日 ☒ 金曜日 ☒ 土曜日

時間

☒ 常時

☐ 開始 00 00 終了 23 59

アクション

☒ SD

添付されたメディア: SD_Video

☐ Send_Mail

添付されたメディア: Video

設定を保存 設定を保存しない

右側の注釈:
 4種類のトリガをサポートしています。
 ビデオ動体検知: モニタするウィンドウを選択します。
 定期的: イベントは特定の区間で発生します。発生間隔の単位は分です。
 システム起動: システムが起動した際、イベントが発生します。
 日曜日 ~ 土曜日: イベントを実行する曜日を選択します。
 時間: 常時を選択、または時間を入力します。
 注意: SDカードは、使用する前にフォーマットしてください。フォーマットすると、SDカード内のすべてのデータが削除されます。

図 8-10 動体検知イベント設定②

● SDカードの録画データ確認

1. セットアップ>SD カードで「Video」をクリックします。



図 8-11 SD カードの録画データ確認

2. 「SD カード」の項目で日付表示されているファイル（フォルダ）をクリックします。



図 8-12 ファイル（フォルダ）選択（日付）

3. 「SD カード」の項目で時間表示されているファイル（フォルダ）をクリックします。



図 8-13 ファイル（フォルダ）選択（時間）

4. 「SD カード」の項目で「年/日付/時間/分/秒」で表示されているファイルをクリックします。
ファイル名をクリックするとダウンロードが開始されます。



図 8-14 ファイル選択（時間/分/秒表示）